

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身につけることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	電卓の使い方、端数の取り扱い
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定（実技による効果測定）を中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅠ	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と演習	
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	実務家教員・・・①民間企業において販売・営業職として勤務もしくは②税理士法人（授業との関連性） ①営業職で培ったコミュニケーションスキルなどの実務経験を活かした授業を展開する。 ②会計業界の実務を体験することで、業務内容と資格試験の知識の関連性を学ぶとともに業界を知る。	
授業計画	1	面接の基本
	2	入退室の仕方
	3	スーツの着こなし、身嗜み確認
	4	自己PR作成①
	5	自己PR作成②
	6	自己PR作成③
	7	会計事務所・企業研究①
	8	会計事務所・企業研究②
	9	会計事務所・企業研究③
	10	会計事務所・企業研究④
	11	会計事務所・企業研究⑤
	12	模擬面接練習①
	13	模擬面接練習②
	14	模擬面接練習③
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員	○
学部・学科	税理士会計士学科
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	共通選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習
授業の進め方	テキストによる講義により、基本的な手法を学ぶ
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	実務家教員・・・①民間企業において販売・営業職として勤務もしくは②税理士法人（授業との関連性） ①営業職で培ったコミュニケーションスキルなどの実務経験を活かした授業を展開する。 ②会計業界の実務を体験することで、業務内容と資格試験の知識の関連性を学ぶとともに業界を知る。
授業計画	1 就職活動の進め方①
	2 就職活動の進め方②
	3 自己分析①
	4 自己分析②
	5 会社選びの基礎知識
	6 企業研究①
	7 企業研究②
	8 応募書類の作成方法①
	9 応募書類の作成方法②
	10 企業へのアクセス①
	11 企業へのアクセス②
	12 企業へのアクセス③
	13 企業へのアクセス④
	14 企業へのアクセス⑤
	15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	グループディスカッションとは①
	2	グループディスカッションとは②
	3	グループディスカッションの役割①
	4	グループディスカッションの役割②
	5	抽象テーマ型グループディスカッション①
	6	抽象テーマ型グループディスカッション②
	7	抽象テーマ型グループディスカッション③
	8	課題解決型グループディスカッション①
	9	課題解決型グループディスカッション②
	10	課題解決型グループディスカッション③
	11	KJ法①
	12	KJ法②
	13	資料読み取り型グループディスカッション①
	14	資料読み取り型グループディスカッション②
	15	資料読み取り型グループディスカッション③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定（実技による効果測定）を中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ビジネスマナー		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科		
履修年次	2年次		
開講区分	通年		
科目区分	共通選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	60時間		
授業回数	30回		
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する		
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る		
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する		
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ		
特記			
授業計画	1	学校と職場の違い	16 効果測定①
	2	職場のマナー	17 効果測定②
	3	仕事の進め方	18 接遇マナー①
	4	報告、連絡、相談	19 接遇マナー②
	5	挨拶	20 接遇マナー③
	6	笑顔、お辞儀	21 接客マナー①
	7	敬語①	22 接客マナー②
	8	敬語②	23 営業マナー①
	9	応対の基本①	24 営業マナー②
	10	応対の基本②	25 商品説明①
	11	電話応対①	26 商品説明②
	12	電話応対②	27 クレーム応対
	13	電話応対③	28 社会人マナー①
	14	電話応対④	29 社会人マナー②
	15	電話応対⑤	30 社会人マナー③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技・筆記による効果測定		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	Excelの実践的なテクニックを習得することで、業務の時短に繋がる仕事術を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	時短に効くショートカットキー
	2	入力の時短①
	3	入力の時短②
	4	入力の時短③
	5	入力の時短④
	6	二度手間を防ぐ①
	7	二度手間を防ぐ②
	8	二度手間を防ぐ③
	9	集計作業効率化①
	10	集計作業効率化②
	11	集計作業効率化③
	12	関数による計算・判定①
	13	関数による計算・判定②
	14	実例演習
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	Excelの実践的なテクニックを習得することで、業務の時短に繋がる仕事術を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	データの整理・集計①
	2	データの整理・集計②
	3	データの整理・集計③
	4	表の作成①
	5	表の作成②
	6	表の作成③
	7	グラフの作成・修正①
	8	グラフの作成・修正②
	9	グラフの作成・修正③
	10	印刷操作①
	11	印刷操作②
	12	印刷操作③
	13	実例演習①
	14	実例演習②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	応用的な機能を活用した文書作成や複雑なデータ集計を行うスキル習得のための実習	
授業の進め方	反復練習と確認テストにより、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	様々な文書作成スキルや実用的なスキルを身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	Word文書の作成①
	2	Word文書の作成②
	3	Word文書の作成③
	4	Word文書の作成④
	5	Word文書の作成⑤
	6	Excel文書の作成①
	7	Excel文書の作成②
	8	Excel文書の作成③
	9	Excel文書の作成④
	10	Excel文書の作成⑤
	11	Excel文書の作成⑥
	12	Excel文書の作成⑦
	13	Word&Excel混在文書の作成①
	14	Word&Excel混在文書の作成②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記の基本原理の理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の目的（基礎編）
	2	簿記一巡（基礎編）
	3	商品売買Ⅰ（基礎編）
	4	商品売買Ⅱ（基礎編）
	5	決算整理（基礎編）
	6	精算表（基礎編）
	7	現金および預金（基礎編）
	8	手形（基礎編）
	9	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	10	その他の債権および債務（基礎編）
	11	その他の勘定および訂正仕訳（基礎編）
	12	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	13	費用および収益の決算整理（基礎編）
	14	株式会社の純資産（基礎編）
	15	英米式決算法（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	3級商業簿記基礎		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科		
履修年次	1年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択必修A		
授業方法	講義		
授業時間	90時間		
授業回数	45回		
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理、簿記の基本原理を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	簿記の目的	31 商業簿記総まとめ③
	2	簿記一巡①	32 商業簿記総まとめ④
	3	簿記一巡②	33 商業簿記総まとめ⑤
	4	商品売買①	34 商業簿記総まとめ⑥
	5	商品売買②	35 損益計算書および貸借対照表①
	6	現金および預金①	36 損益計算書および貸借対照表②
	7	現金および預金②	37 損益計算書および貸借対照表③
	8	手形	38 主要簿と補助簿①
	9	有形固定資産	39 主要簿と補助簿②
	10	その他の債権および債務①	40 主要簿と補助簿③
	11	その他の債権および債務②	41 主要簿と補助簿④
	12	税金	42 主要簿と補助簿⑤
	13	その他の勘定および訂正仕訳	43 主要簿と補助簿⑥
	14	株式会社の資本	44 伝票①
	15	確認テスト（第1回）	45 伝票②
	16	決算①（繰越商品および仕入の決算整理）	
	17	決算②（決算整理後残高試算表）	
	18	決算③（精算表）	
	19	決算④（有形固定資産の決算整理）	
	20	決算⑤（有形固定資産の決算整理）	
	21	決算⑥（有形固定資産の決算整理）	
	22	決算⑦（受取手形および売掛金の決算整理）	
	23	決算⑧（費用および収益の決算整理）	
	24	決算⑨（費用および収益の決算整理）	
	25	決算⑩（その他の決算整理）	
	26	決算⑪（その他の決算整理）	
	27	決算⑫（その他の決算整理）	
	28	確認テスト（第2回）	
	29	商業簿記総まとめ①	
	30	商業簿記総まとめ②	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	3級簿記総合			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択必修A			
授業方法	演習			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）	31	総合問題対策①
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）	32	総合問題対策②
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）	33	総合問題対策③
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）	34	総合問題対策④
	5	商業簿記総まとめ⑤（基礎編）	35	総合問題対策⑤
	6	商業簿記総まとめ⑥（基礎編）	36	総合問題対策⑥
	7	商業簿記総まとめ⑦（基礎編）	37	総合問題対策⑦
	8	商業簿記総まとめ⑧（基礎編）	38	総合問題対策⑧
	9	商業簿記総まとめ⑨（基礎編）	39	総合問題対策⑨
	10	商業簿記総まとめ⑩（基礎編）	40	総合問題対策⑩
	11	商業簿記総まとめ⑪（基礎編）	41	総合問題対策⑪
	12	商業簿記総まとめ⑫（基礎編）	42	総合問題対策⑫
	13	商業簿記総まとめ⑬（基礎編）	43	総合問題対策⑬
	14	商業簿記総まとめ⑭（基礎編）	44	総合問題対策⑭
	15	商業簿記総まとめ⑮（基礎編）	45	総合問題対策⑮
	16	商業簿記総まとめ①（応用編）	46	総合問題演習①
	17	商業簿記総まとめ②（応用編）	47	総合問題演習②
	18	商業簿記総まとめ③（応用編）	48	総合問題演習③
	19	商業簿記総まとめ④（応用編）	49	総合問題演習④
	20	商業簿記総まとめ⑤（応用編）	50	総合問題演習⑤
	21	商業簿記総まとめ⑥（応用編）	51	総合問題演習⑥
	22	商業簿記総まとめ⑦（応用編）	52	総合問題演習⑦
	23	商業簿記総まとめ⑧（応用編）	53	総合問題演習⑧
	24	商業簿記総まとめ⑨（応用編）	54	総合問題演習⑨
	25	商業簿記総まとめ⑩（応用編）	55	総合問題演習⑩
	26	商業簿記総まとめ⑪（応用編）	56	総合問題演習⑪
	27	商業簿記総まとめ⑫（応用編）	57	総合問題演習⑫
	28	商業簿記総まとめ⑬（応用編）	58	総合問題演習⑬
	29	商業簿記総まとめ⑭（応用編）	59	総合問題演習⑭
	30	商業簿記総まとめ⑮（応用編）	60	総合問題演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	2級商業簿記基礎 I		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科		
履修年次	1年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択必修B		
授業方法	講義		
授業時間	90時間		
授業回数	45回		
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	総論（基礎編）	31 株主資本等変動計算書①（基礎編）
	2	収益と費用①（基礎編）	32 株主資本等変動計算書②（基礎編）
	3	収益と費用②（基礎編）	33 株主資本等変動計算書③（基礎編）
	4	棚卸資産①（基礎編）	34 連結会計①（基礎編）
	5	棚卸資産②（基礎編）	35 連結会計②（基礎編）
	6	現金預金（基礎編）	36 連結会計③（基礎編）
	7	債権・債務等①（基礎編）	37 連結会計④（基礎編）
	8	債権・債務等②（基礎編）	38 連結会計⑤（基礎編）
	9	有価証券①（基礎編）	39 連結会計⑥（基礎編）
	10	有価証券②（基礎編）	40 連結会計⑦（基礎編）
	11	有価証券③（基礎編）	41 連結会計⑧（基礎編）
	12	固定資産①（基礎編）	42 本支店会計①（基礎編）
	13	固定資産②（基礎編）	43 本支店会計②（基礎編）
	14	固定資産③（基礎編）	44 本支店会計③（基礎編）
	15	固定資産④（基礎編）	45 伝票と帳簿（基礎編）
	16	固定資産⑤（基礎編）	
	17	固定資産⑥（基礎編）	
	18	為替換算会計①（基礎編）	
	19	為替換算会計②（基礎編）	
	20	引当金①（基礎編）	
	21	引当金②（基礎編）	
	22	法人税等①（基礎編）	
	23	法人税等②（基礎編）	
	24	法人税等③（基礎編）	
	25	法人税等④（基礎編）	
	26	株式会社の純資産①（基礎編）	
	27	株式会社の純資産②（基礎編）	
	28	企業結合①（基礎編）	
	29	企業結合②（基礎編）	
	30	確認テスト	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修B	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	工業簿記の基礎（基礎編）
	2	個別原価計算の手続き（基礎編）
	3	材料費会計（基礎編）
	4	労務費会計（基礎編）
	5	経費会計（基礎編）
	6	製造間接費会計（基礎編）
	7	製造間接費差異の原因別分析（基礎編）
	8	単純個別原価計算Ⅰ（基礎編）
	9	単純個別原価計算Ⅱ（基礎編）
	10	工企業の財務諸表（基礎編）
	11	工業簿記総まとめ①（基礎編）
	12	部門別計算Ⅰ（基礎編）
	13	部門別計算Ⅱ（基礎編）
	14	確認テスト（第1回）
	15	工業簿記総まとめ②（基礎編）
	16	総合原価計算の手続き（基礎編）
	17	単純総合原価計算（基礎編）
	18	減損および仕損（基礎編）
	19	工程別総合原価計算（基礎編）
	20	組別総合原価計算（基礎編）
	21	等級別総合原価計算（基礎編）
	22	標準原価計算Ⅰ（基礎編）
	23	標準原価計算Ⅱ（基礎編）
	24	標準原価計算Ⅲ（基礎編）
	25	工業簿記総まとめ③（基礎編）
	26	CVP分析Ⅰ（基礎編）
	27	CVP分析Ⅱ（基礎編）
	28	直接原価計算（基礎編）
	29	工業簿記総まとめ④（基礎編）
	30	確認テスト（第2回）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級簿記総合 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択必修B			
授業方法	演習			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、 本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）	31	工業簿記総まとめ⑪（基礎編）
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）	32	工業簿記総まとめ⑫（基礎編）
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）	33	工業簿記総まとめ⑬（基礎編）
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）	34	工業簿記総まとめ⑭（基礎編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（基礎編）	35	工業簿記総まとめ⑮（基礎編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（基礎編）	36	工業簿記総まとめ⑯（基礎編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（基礎編）	37	工業簿記総まとめ⑰（基礎編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（基礎編）	38	工業簿記総まとめ⑱（基礎編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（基礎編）	39	工業簿記総まとめ⑲（基礎編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（基礎編）	40	工業簿記総まとめ⑳（基礎編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（基礎編）	41	総合問題演習①（テスト形式）
	12	商業簿記総まとめ⑫（基礎編）	42	総合問題演習②（テスト形式）
	13	商業簿記総まとめ⑬（基礎編）	43	総合問題演習③（テスト形式）
	14	商業簿記総まとめ⑭（基礎編）	44	総合問題演習④（テスト形式）
	15	商業簿記総まとめ⑮（基礎編）	45	総合問題演習⑤（テスト形式）
	16	商業簿記総まとめ⑯（基礎編）	46	総合問題演習⑥（テスト形式）
	17	商業簿記総まとめ⑰（基礎編）	47	総合問題演習⑦（テスト形式）
	18	商業簿記総まとめ⑱（基礎編）	48	総合問題演習⑧（テスト形式）
	19	商業簿記総まとめ⑲（基礎編）	49	総合問題演習⑨（テスト形式）
	20	商業簿記総まとめ⑳（基礎編）	50	総合問題演習⑩（テスト形式）
	21	工業簿記総まとめ①（基礎編）	51	総合問題演習⑪（テスト形式）
	22	工業簿記総まとめ②（基礎編）	52	総合問題演習⑫（テスト形式）
	23	工業簿記総まとめ③（基礎編）	53	総合問題演習⑬（テスト形式）
	24	工業簿記総まとめ④（基礎編）	54	総合問題演習⑭（テスト形式）
	25	工業簿記総まとめ⑤（基礎編）	55	総合問題演習⑮（テスト形式）
	26	工業簿記総まとめ⑥（基礎編）	56	総合問題演習⑯（テスト形式）
	27	工業簿記総まとめ⑦（基礎編）	57	総合問題演習⑰（テスト形式）
	28	工業簿記総まとめ⑧（基礎編）	58	総合問題演習⑱（テスト形式）
	29	工業簿記総まとめ⑨（基礎編）	59	総合問題演習⑲（テスト形式）
	30	工業簿記総まとめ⑩（基礎編）	60	総合問題演習⑳（テスト形式）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	1級会計学速習基礎		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科		
履修年次	1年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択必修C		
授業方法	講義		
授業時間	90時間		
授業回数	45回		
授業概要	会計基準および適用指針など実務に直結する会計の基礎について短期間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	会計知識の習得および計算技術の習得を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	財務諸表、有価証券（速習編）	31 在外子会社（速習編）
	2	デリバティブ取引・ヘッジ会計等（速習編）	32 企業結合①（速習編）
	3	有形固定資産（速習編）	33 企業結合②（速習編）
	4	割引現在価値（速習編）	34 事業分離（速習編）
	5	リース取引①（速習編）	35 本支店会計①（速習編）
	6	リース取引②（速習編）	36 本支店会計②（速習編）
	7	研究開発費とソフトウェア（速習編）	37 本支店会計③（速習編）
	8	固定資産の減損（速習編）	38 キャッシュ・フロー計算書①（速習編）
	9	繰延資産（速習編）	39 キャッシュ・フロー計算書②（速習編）
	10	社債①（速習編）	40 キャッシュ・フロー計算書③（速習編）
	11	社債②（速習編）	41 連結キャッシュ・フロー計算書①（速習編）
	12	引当金（速習編）	42 連結キャッシュ・フロー計算書②（速習編）
	13	退職給付①（速習編）	43 会計上の変更及び誤謬の訂正（速習編）
	14	退職給付②（速習編）	44 収益認識①（速習編）
	15	資産除去債務（速習編）	45 収益認識②（速習編）
	16	純資産（速習編）	
	17	新株予約権と新株予約権付社債（速習編）	
	18	ストック・オプション（速習編）	
	19	税効果会計①（速習編）	
	20	税効果会計②（速習編）	
	21	外貨建取引①（速習編）	
	22	外貨建取引②（速習編）	
	23	商品売買等（速習編）	
	24	連結財務諸表総論（速習編）	
	25	資本連結（速習編）	
	26	成果連結①（速習編）	
	27	成果連結②（速習編）	
	28	連結税効果会計（速習編）	
	29	持分法（速習編）	
	30	包括利益（速習編）	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算速習基礎	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修C	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容について短期間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総論（速習編）
	2	費目別計算（速習編）
	3	個別原価計算Ⅰ（速習編）
	4	部門別計算Ⅰ（速習編）
	5	部門別計算Ⅱ（速習編）
	6	個別原価計算Ⅱ（速習編）
	7	総合原価計算Ⅰ（速習編）
	8	総合原価計算Ⅱ（速習編）
	9	総合原価計算Ⅲ（速習編）
	10	総合原価計算Ⅳ（速習編）
	11	総合原価計算Ⅴ（速習編）
	12	総合原価計算Ⅵ（速習編）
	13	標準原価計算Ⅰ（速習編）
	14	標準原価計算Ⅱ（速習編）
	15	標準原価計算Ⅲ（速習編）
	16	標準原価計算Ⅳ（速習編）
	17	直接原価計算（速習編）
	18	短期利益計画（速習編）
	19	予算管理Ⅰ（速習編）
	20	予算管理Ⅱ（速習編）
	21	意思決定会計総論（速習編）
	22	業務的意思決定Ⅰ（速習編）
	23	業務的意思決定Ⅱ（速習編）
	24	構造的意意思決定Ⅰ（速習編）
	25	構造的意意思決定Ⅱ（速習編）
	26	構造的意意思決定Ⅲ（速習編）
	27	事業部制Ⅰ（速習編）
	28	事業部制Ⅱ（速習編）
	29	戦略的原価計算Ⅰ（速習編）
	30	戦略的原価計算Ⅱ（速習編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級簿記速習総合			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択必修C			
授業方法	演習			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	大企業を前提とした会計制度を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	より深い会計制度の知識習得および問題演習を通じて計算技術を習得することを目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①（速習編）	31	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（速習編）
	2	商業簿記・会計学総まとめ②（速習編）	32	工業簿記・原価計算総まとめ⑦（速習編）
	3	商業簿記・会計学総まとめ③（速習編）	33	工業簿記・原価計算総まとめ⑧（速習編）
	4	商業簿記・会計学総まとめ④（速習編）	34	工業簿記・原価計算総まとめ⑨（速習編）
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤（速習編）	35	工業簿記・原価計算総まとめ⑩（速習編）
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥（速習編）	36	工業簿記・原価計算総まとめ⑪（速習編）
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦（速習編）	37	工業簿記・原価計算総まとめ⑫（速習編）
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧（速習編）	38	工業簿記・原価計算総まとめ⑬（速習編）
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨（速習編）	39	工業簿記・原価計算総まとめ⑭（速習編）
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩（速習編）	40	工業簿記・原価計算総まとめ⑮（速習編）
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪（速習編）	41	工業簿記・原価計算総まとめ⑯（速習編）
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫（速習編）	42	工業簿記・原価計算総まとめ⑰（速習編）
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬（速習編）	43	工業簿記・原価計算総まとめ⑱（速習編）
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭（速習編）	44	工業簿記・原価計算総まとめ⑲（速習編）
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮（速習編）	45	工業簿記・原価計算総まとめ⑳（速習編）
	16	商業簿記・会計学総まとめ⑯（速習編）	46	総合問題演習①（テスト形式）
	17	商業簿記・会計学総まとめ⑰（速習編）	47	総合問題演習②（テスト形式）
	18	商業簿記・会計学総まとめ⑱（速習編）	48	総合問題演習③（テスト形式）
	19	商業簿記・会計学総まとめ⑲（速習編）	49	総合問題演習④（テスト形式）
	20	商業簿記・会計学総まとめ⑳（速習編）	50	総合問題演習⑤（テスト形式）
	21	商業簿記・会計学総まとめ㉑（速習編）	51	総合問題演習⑥（テスト形式）
	22	商業簿記・会計学総まとめ㉒（速習編）	52	総合問題演習⑦（テスト形式）
	23	商業簿記・会計学総まとめ㉓（速習編）	53	総合問題演習⑧（テスト形式）
	24	商業簿記・会計学総まとめ㉔（速習編）	54	総合問題演習⑨（テスト形式）
	25	商業簿記・会計学総まとめ㉕（速習編）	55	総合問題演習⑩（テスト形式）
	26	工業簿記・原価計算総まとめ①（速習編）	56	総合問題演習⑪（テスト形式）
	27	工業簿記・原価計算総まとめ②（速習編）	57	総合問題演習⑫（テスト形式）
	28	工業簿記・原価計算総まとめ③（速習編）	58	総合問題演習⑬（テスト形式）
	29	工業簿記・原価計算総まとめ④（速習編）	59	総合問題演習⑭（テスト形式）
	30	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（速習編）	60	総合問題演習⑮（テスト形式）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅰ		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科		
履修年次	1年次		
開講区分	通年		
科目区分	選択必修D		
授業方法	講義		
授業時間	180時間		
授業回数	90回		
授業概要	商品売買、棚卸資産、現金預金、金銭債権、有価証券に関する初歩的な会計処理、財務会計の基礎概念を体系的を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	商品売買、棚卸資産、現金預金、金銭債権、有価証券初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる		
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）		
特記			
授業計画	1	商品売買総論	46 株式に係る期中処理
	2	商品売買の記帳方法	47 公社債に係る期中処理
	3	商品有高帳の記帳	48 有価証券の分類と評価
	4	返品・値引・割戻の処理	49 親会社株式
	5	割引の処理	50 約定日基準
	6	原価率等	51 修正受渡日基準
	7	仕入諸掛り・販売諸掛りの処理	52 デリバティブ取引の概要
	8	他勘定振替高	53 先物取引
	9	棚卸資産の範囲	54 オプション取引
	10	棚卸資産の期末評価	55 スワップ取引
	11	棚卸減耗損	56 ヘッジ会計の概要
	12	商品評価損	57 繰延ヘッジ
	13	売価還元法	58 時価ヘッジ
	14	トレーディング目的で保有する棚卸資産	59 債権譲渡
	15	現金	60 会計の意義
	16	当座預金	61 資本循環と財務諸表
	17	割引現在価値の概要	62 財務会計と管理会計
	18	現価係数	63 会計責任説と利害調整機能
	19	年金現価係数	64 意思決定有用性説と情報提供機能
	20	売掛金・買掛金	65 利益の性格と財務会計の機能
	21	その他の債権・債務	66 会社法会計
	22	前払費用	67 金融商品取引法会計
	23	未払費用	68 単体開示の簡素化
	24	前受収益	69 企業会計原則
	25	未収収益	70 企業会計基準
	26	手形総論	71 会計基準の国際的コンバージェンス
	27	約束手形	72 指定国際会計基準および修正国際基準の取扱い
	28	為替手形と偶発債務	73 米国基準の任意適用
	29	手形の裏書譲渡	74 原則主義と細則主義
	30	手形の割引	75 会計基準を設定するアプローチ
	31	不渡手形	76 概念フレームワークの公表
	32	手形の更改	77 財務報告の目的
	33	営業外手形	78 会計情報の質的特性
	34	金融手形（手形借入金・手形貸付金）	79 財務諸表の構成要素
	35	売上債権に含まれる金利部分の会計処理	80 財務諸表における認識と測定
	36	貸倒損失	81 実現主義
	37	貸倒引当金の設定	82 発生主義
	38	貸倒れの処理と貸倒引当金の取崩し	83 費用収益対応の原則
	39	貸倒れ処理済債権の回収	84 収支額基準
	40	手形の裏書譲渡・割引と貸倒引当金戻入	85 実現可能性基準
	41	相殺適状	86 原価主義
	42	貸倒見積高の算定（一般債権）	87 時価主義
	43	貸倒見積高の算定（貸倒懸念債権）	88 割引原価主義
	44	貸倒見積高の算定（破産更生債権等）	89 費用配分の原則
	45	有価証券総論	90 巻末総合問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	管理会計論入門 I		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科		
履修年次	1年次		
開講区分	通年		
科目区分	選択必修D		
授業方法	講義		
授業時間	90時間		
授業回数	45回		
授業概要	管理会計の概要を知り、基礎を学ぶ		
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る		
達成目標	管理会計の概要を知り、基礎を習得する		
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）		
特記			
授業計画	1	管理会計論総論	31 製造部門費配賦差異の算定
	2	管理会計論の範囲	32 補助部門費の配賦
	3	原価計算の本質・意義	33 配賦基準（単一基準配賦法）
	4	原価計算の基本思考	34 配賦基準（複数基準配賦法）
	5	原価計算の目的	35 配賦金額（実際発生額）
	6	費目別計算総論	36 配賦金額（予定配賦額）
	7	原価の分類	37 配賦金額（予算許容額）
	8	材料費の計算	38 個別原価計算総論
	9	材料費の分類	39 製造指図書と原価計算表
	10	労務費の計算	40 完成品原価と月末仕掛品原価の区分
	11	労務費の計算	41 単純個別原価計算
	12	経費の計算	42 ロット別個別原価計算
	13	経費の分類	43 部門別個別原価計算の意義
	14	製造間接費の計算	44 個別原価計算における仕損の処理①
	15	製造間接費と配賦計算	45 個別原価計算における仕損の処理②
	16	配賦基準	
	17	製造間接費の実際配賦	
	18	製造間接費の予定配賦	
	19	製造間接費予算	
	20	配賦差異の算定	
	21	固定予算	
	22	公式法変動予算	
	23	実査法変動予算	
	24	部門別計算の意義・目的	
	25	原価部門の設定	
	26	実際配賦（第1次集計）	
	27	実際配賦（第2次集計）	
	28	実際配賦（第3次集計）	
	29	予定配賦	
	30	予定配賦率の算定・予定配賦額の算定	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	会計学入門 I
実務家教員	
学部・学科	税理士会計士学科
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択必修E
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	簿記一巡・商品の流れの初歩的な知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の概要 I ①（初歩編）
	2 簿記の概要 I ②（初歩編）
	3 現金預金 I ①（初歩編）
	4 現金預金 I ②（初歩編）
	5 債権債務 I ①（初歩編）
	6 債権債務 I ②（初歩編）
	7 商品売買 I ①（初歩編）
	8 商品売買 I ②（初歩編）
	9 給料等 I ①（初歩編）
	10 給料等 I ②（初歩編）
	11 固定資産 I ①（初歩編）
	12 固定資産 I ②（初歩編）
	13 固定資産 I ③（初歩編）
	14 固定資産 I ④（初歩編）
	15 固定資産 I ⑤（初歩編）
	16 固定資産 I ⑥（初歩編）
	17 ソフトウェア I ①（初歩編）
	18 ソフトウェア I ②（初歩編）
	19 債権債務 I ①（初歩編）
	20 債権債務 I ②（初歩編）
	21 貸倒れ I ①（初歩編）
	22 貸倒れ I ②（初歩編）
	23 退職給付会計 I ①（初歩編）
	24 退職給付会計 I ②（初歩編）
	25 退職給付会計 I ③（初歩編）
	26 退職給付会計 I ④（初歩編）
	27 退職給付会計 I ⑤（初歩編）
	28 退職給付会計 I ⑥（初歩編）
	29 税金 I ①（初歩編）
	30 税金 I ②（初歩編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	会計学入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士会計士学科
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択必修E
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	会計学、会計基準の初歩的な概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス・財務諸表の基礎（初歩）
	2 個別注記表（初歩）
	3 現金及び預金（初歩）
	4 債権債務（初歩）
	5 関係会社概念（初歩）
	6 売上原価の算定（初歩）
	7 貸倒れ（初歩）
	8 給料等（初歩）
	9 その他の引当金（初歩）
	10 退職給付会計（初歩）
	11 有形固定資産（初歩）
	12 無形固定資産（初歩）
	13 株主資本（初歩）
	14 ソフトウェア（初歩）
	15 法人税等・追徴還付（初歩）
	16 外形基準、租税公課（初歩）
	17 源泉所得税、社会保険料（初歩）
	18 財務諸表論の基礎概念①（初歩）
	19 財務諸表論の基礎概念②（初歩）
	20 財務諸表論の基礎概念③（初歩）
	21 財務諸表論の基礎概念④（初歩）
	22 財務諸表論の基礎概念⑤（初歩）
	23 企業会計原則（一般原則）①（初歩）
	24 企業会計原則（一般原則）②（初歩）
	25 企業会計原則（一般原則）③（初歩）
	26 企業会計原則（一般原則）④（初歩）
	27 企業会計原則（一般原則）⑤（初歩）
	28 企業会計原則（一般原則）⑥（初歩）
	29 企業会計原則（一般原則）⑦（初歩）
	30 企業会計原則（一般原則）⑧（初歩）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修E	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）
	5	現金預金Ⅰ①（入門編）
	6	現金預金Ⅰ②（入門編）
	7	現金預金Ⅰ③（入門編）
	8	債権債務Ⅰ①（入門編）
	9	債権債務Ⅰ②（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）
	15	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択必修E			
授業方法	講義			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	オリジナルテキスト	31	社債Ⅰ①（入門編）
	2	固定資産Ⅰ②（入門編）	32	社債Ⅰ②（入門編）
	3	固定資産Ⅰ③（入門編）	33	社債Ⅰ③（入門編）
	4	固定資産Ⅰ④（入門編）	34	社債Ⅰ④（入門編）
	5	固定資産Ⅰ⑤（入門編）	35	社債Ⅰ⑤（入門編）
	6	固定資産Ⅰ⑥（入門編）	36	社債Ⅰ⑥（入門編）
	7	固定資産Ⅰ⑦（入門編）	37	純資産会計Ⅰ①（入門編）
	8	固定資産Ⅰ⑧（入門編）	38	純資産会計Ⅰ②（入門編）
	9	固定資産Ⅰ⑨（入門編）	39	純資産会計Ⅰ③（入門編）
	10	固定資産Ⅰ⑩（入門編）	40	純資産会計Ⅰ④（入門編）
	11	ソフトウェアⅠ①（入門編）	41	有価証券Ⅰ①（入門編）
	12	ソフトウェアⅠ②（入門編）	42	有価証券Ⅰ②（入門編）
	13	債権債務Ⅰ①（入門編）	43	有価証券Ⅰ③（入門編）
	14	債権債務Ⅰ②（入門編）	44	有価証券Ⅰ④（入門編）
	15	債権債務Ⅰ③（入門編）	45	確認テスト
	16	貸倒れⅠ①（入門編）		
	17	貸倒れⅠ②（入門編）		
	18	貸倒れⅠ③（入門編）		
	19	退職給付会計Ⅰ①（入門編）		
	20	退職給付会計Ⅰ②（入門編）		
	21	退職給付会計Ⅰ③（入門編）		
	22	退職給付会計Ⅰ④（入門編）		
	23	退職給付会計Ⅰ⑤（入門編）		
	24	退職給付会計Ⅰ⑥（入門編）		
	25	退職給付会計Ⅰ⑦（入門編）		
	26	退職給付会計Ⅰ⑧（入門編）		
	27	税金Ⅰ①（入門編）		
	28	税金Ⅰ②（入門編）		
	29	税金Ⅰ③（入門編）		
	30	税金Ⅰ④（入門編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修E	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	会計学の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門）
	2	個別注記表（入門）
	3	現金及び預金（入門）
	4	債権債務（入門）
	5	関係会社概念（入門）
	6	売上原価の算定（入門）
	7	貸倒れ（入門）
	8	給料等（入門）
	9	その他の引当金（入門）
	10	退職給付会計（入門）
	11	有形固定資産（入門）
	12	無形固定資産（入門）
	13	株主資本（入門）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択必修E			
授業方法	講義			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	会計基準の入門概要を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	売買目的有価証券（入門）	31	ゴルフ会員権（入門）
	2	満期保有目的の債券（入門）	32	売価還元法（入門）
	3	子会社株式・関連会社株式（入門）	33	製造業会計（入門）
	4	その他有価証券（入門）	34	研究開発費（入門）
	5	ソフトウェア（入門）	35	新株予約権（入門）
	6	法人税等・追徴還付（入門）	36	キャッシュ・フロー計算書（入門）
	7	現在価値計算（入門）	37	損益計算書総論（入門）
	8	社債（入門）	38	貸借対照表総論（入門）
	9	利益剰余金（入門）	39	資産総論（入門）
	10	自己株式（入門）	40	棚卸資産に関する会計基準（入門）
	11	配当（入門）	41	連続意見書（入門）
	12	外形基準、租税公課（入門）	42	引当金（入門）
	13	源泉所得税、社会保険料（入門）	43	会計観（入門）
	14	税効果会計（入門）	44	金融商品（入門）
	15	税効果注記（入門）	45	確認テスト(理論)
	16	源泉所得税、社会保険料（入門）		
	17	株主資本等変動計算書（入門）		
	18	減損会計（入門）		
	19	配当を受けた株主の処理（入門）		
	20	圧縮記帳（入門）		
	21	外貨建取引（入門）		
	22	退職給付会計簡便法（入門）		
	23	繰延資産（入門）		
	24	為替予約（入門）		
	25	仕入・売上げの計上基準（入門）		
	26	消費税等（入門）		
	27	他勘定振替（入門）		
	28	外貨建有価証券（入門）		
	29	リース会計（入門）		
	30	証券投資信託（入門）		
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	経理実務			
実務家教員	○			
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択必修F			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	60時間			
授業回数	30回			
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、知識を習得するための講義			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールと業務内容の理解ができる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記	実務家教員・・・法人税、相続税を中心として勤務されている税理士 （授業との関連性） 税理士事務所での税務業務の実務経験を活かし、印鑑企業の経理実務に関する職業理解を深めた授業を展開する			
授業計画	1	経理・総務の年間カリキュラム	16	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）②
	2	小切手・手形の実務上のポイント	17	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）③
	3	入出金伝票と現金出納帳	18	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）①
	4	当座預金出納帳と手形記入帳	19	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）②
	5	交際費、福利厚生費及び会議費用の区分	20	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）③
	6	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理①	21	個人住民税の徴収及び納付①
	7	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理②	22	個人住民税の徴収及び納付②
	8	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③	23	印紙税の基礎知識
	9	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④	24	受取利息の会計処理
	10	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤	25	消費税法の概要①
	11	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥	26	消費税法の概要②
	12	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務①	27	消費税の会計処理
	13	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務②	28	原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）①
	14	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務③	29	原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）②
	15	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）①	30	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	講義後のチェックテストを中心に総合評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	給与計算実務	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必修F	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務に必要な知識を習得する講義	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	所得税・住民税額を算定し、年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	実務家教員・・・法人税、相続税を中心として勤務されている税理士 （授業との関連性） 税理士事務所での税務業務の実務経験を活かし、印鑑企業の経理実務に関する職業理解を深めた授業を展開する	
授業計画	1	所得税の基礎知識①
	2	所得税の基礎知識②
	3	所得税の基礎知識③
	4	年末調整のしかた①
	5	年末調整のしかた②
	6	年末調整のしかた③
	7	法定調書の流れ①
	8	法定調書の流れ②
	9	法定調書の流れ③
	10	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①
	11	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②
	12	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③
	13	労働保険の概要及び会計処理①
	14	労働保険の概要及び会計処理②
	15	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	講義後のチェックテストを中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	マーケティング概論			
実務家教員	○			
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択必修G			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	60時間			
授業回数	30回			
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する			
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト			
特記	実務家教員・・・服飾販売企業との連携授業 (授業との関連性) ・商品やサービスが売れる仕組みについて、実際の企業をモデルに学生が実際の現場にアウトリサーチすることで理解を深める ・顧客や社員の声をもとに研究分析を展開する			
授業計画	1	マーケティングと顧客満足	16	店舗実習事前研究①
	2	マーケティング分析方法①	17	店舗実習事前研究②
	3	マーケティング分析方法②	18	店舗実習事前指導
	4	マーケティングと財務知識①	19	店舗実習①
	5	マーケティングと財務知識②	20	店舗実習②
	6	マーケティングと財務知識③	21	店舗実習③
	7	マーケティングと財務知識④	22	店舗実習④
	8	マーケティング手法①	23	店舗実習⑤
	9	マーケティング手法②	24	店舗実習⑥
	10	確認テスト	25	店舗実習振り返り
	11	事例から学ぶマーケティング①	26	マーケティング演習①
	12	事例から学ぶマーケティング②	27	マーケティング演習②
	13	事例から学ぶマーケティング③	28	マーケティング演習③
	14	事例から学ぶマーケティング④	29	マーケティング演習④
	15	事例から学ぶマーケティング⑤	30	マーケティング演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング基礎	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必修G	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	店舗データの理解
	2	マーケティングの流れ
	3	売上構成分析
	4	来店客分析
	5	商品分析
	6	費用分析
	7	課題抽出
	8	アンケート調査分析
	9	企画作成①
	10	企画作成②
	11	企画作成③
	12	企画作成④
	13	様々なマーケティング①
	14	様々なマーケティング②
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級簿記速習演習			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	共通選択			
授業方法	演習			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	個別会計、結合会計などを通じて近年の企業再編等についても学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記1級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①（基礎編）	31	工業簿記・原価計算総まとめ⑧（基礎編）
	2	商業簿記・会計学総まとめ②（基礎編）	32	工業簿記・原価計算総まとめ⑨（基礎編）
	3	商業簿記・会計学総まとめ③（基礎編）	33	工業簿記・原価計算総まとめ⑩（基礎編）
	4	商業簿記・会計学総まとめ④（基礎編）	34	工業簿記・原価計算総まとめ⑪（基礎編）
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤（基礎編）	35	工業簿記・原価計算総まとめ⑫（基礎編）
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥（基礎編）	36	工業簿記・原価計算総まとめ⑬（基礎編）
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦（基礎編）	37	工業簿記・原価計算総まとめ⑭（基礎編）
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧（基礎編）	38	工業簿記・原価計算総まとめ⑮（基礎編）
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨（基礎編）	39	工業簿記・原価計算総まとめ⑯（基礎編）
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩（基礎編）	40	工業簿記・原価計算総まとめ⑰（基礎編）
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪（基礎編）	41	工業簿記・原価計算総まとめ⑱（基礎編）
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫（基礎編）	42	工業簿記・原価計算総まとめ⑲（基礎編）
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬（基礎編）	43	工業簿記・原価計算総まとめ⑳（基礎編）
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭（基礎編）	44	工業簿記・原価計算総まとめ㉑（基礎編）
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮（基礎編）	45	工業簿記・原価計算総まとめ㉒（基礎編）
	16	商業簿記・会計学総まとめ⑯（基礎編）		
	17	商業簿記・会計学総まとめ⑰（基礎編）		
	18	商業簿記・会計学総まとめ⑱（基礎編）		
	19	商業簿記・会計学総まとめ⑲（基礎編）		
	20	商業簿記・会計学総まとめ⑳（基礎編）		
	21	商業簿記・会計学総まとめ㉑（基礎編）		
	22	商業簿記・会計学総まとめ㉒（基礎編）		
	23	商業簿記・会計学総まとめ㉓（基礎編）		
	24	工業簿記・原価計算総まとめ①（基礎編）		
	25	工業簿記・原価計算総まとめ②（基礎編）		
	26	工業簿記・原価計算総まとめ③（基礎編）		
	27	工業簿記・原価計算総まとめ④（基礎編）		
	28	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（基礎編）		
	29	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（基礎編）		
	30	工業簿記・原価計算総まとめ⑦（基礎編）		
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	1級会計学総合 I		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科		
履修年次	1年次		
開講区分	通年		
科目区分	共通選択		
授業方法	演習		
授業時間	90時間		
授業回数	45回		
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	簿記検定1級合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①	31 総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説）
	2	商業簿記・会計学総まとめ②	32 総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説）
	3	商業簿記・会計学総まとめ③	33 総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説）
	4	商業簿記・会計学総まとめ④	34 総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説）
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤	35 総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説）
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥	36 総合問題対策⑪（テスト形式の問題解説）
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦	37 総合問題対策⑫（テスト形式の問題解説）
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧	38 総合問題対策⑬（テスト形式の問題解説）
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨	39 総合問題対策⑭（テスト形式の問題解説）
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩	40 総合問題対策⑮（テスト形式の問題解説）
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪	41 総合問題対策⑯（テスト形式の問題解説）
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫	42 総合問題対策⑰（テスト形式の問題解説）
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬	43 総合問題対策⑱（テスト形式の問題解説）
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭	44 総合問題対策⑲（テスト形式の問題解説）
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮	45 総合問題対策⑳（テスト形式の問題解説）
	16	商業簿記・会計学総まとめ⑯	
	17	商業簿記・会計学総まとめ⑰	
	18	商業簿記・会計学総まとめ⑱	
	19	商業簿記・会計学総まとめ⑲	
	20	商業簿記・会計学総まとめ⑳	
	21	商業簿記・会計学総まとめ㉑	
	22	商業簿記・会計学総まとめ㉒	
	23	商業簿記・会計学総まとめ㉓	
	24	商業簿記・会計学総まとめ㉔	
	25	商業簿記・会計学総まとめ㉕	
	26	総合問題対策①（テスト形式の問題解説）	
	27	総合問題対策②（テスト形式の問題解説）	
	28	総合問題対策③（テスト形式の問題解説）	
	29	総合問題対策④（テスト形式の問題解説）	
	30	総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説）	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	1級原価計算総合 I		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科		
履修年次	1 年次		
開講区分	通年		
科目区分	共通選択		
授業方法	演習		
授業時間	90時間		
授業回数	45回		
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	簿記検定1級合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	工業簿記・原価計算総まとめ①	31 総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説）
	2	工業簿記・原価計算総まとめ②	32 総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説）
	3	工業簿記・原価計算総まとめ③	33 総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説）
	4	工業簿記・原価計算総まとめ④	34 総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説）
	5	工業簿記・原価計算総まとめ⑤	35 総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説）
	6	工業簿記・原価計算総まとめ⑥	36 総合問題対策⑪（テスト形式の問題解説）
	7	工業簿記・原価計算総まとめ⑦	37 総合問題対策⑫（テスト形式の問題解説）
	8	工業簿記・原価計算総まとめ⑧	38 総合問題対策⑬（テスト形式の問題解説）
	9	工業簿記・原価計算総まとめ⑨	39 総合問題対策⑭（テスト形式の問題解説）
	10	工業簿記・原価計算総まとめ⑩	40 総合問題対策⑮（テスト形式の問題解説）
	11	工業簿記・原価計算総まとめ⑪	41 総合問題対策⑯（テスト形式の問題解説）
	12	工業簿記・原価計算総まとめ⑫	42 総合問題対策⑰（テスト形式の問題解説）
	13	工業簿記・原価計算総まとめ⑬	43 総合問題対策⑱（テスト形式の問題解説）
	14	工業簿記・原価計算総まとめ⑭	44 総合問題対策⑲（テスト形式の問題解説）
	15	工業簿記・原価計算総まとめ⑮	45 総合問題対策⑳（テスト形式の問題解説）
	16	工業簿記・原価計算総まとめ⑯	
	17	工業簿記・原価計算総まとめ⑰	
	18	工業簿記・原価計算総まとめ⑱	
	19	工業簿記・原価計算総まとめ⑲	
	20	工業簿記・原価計算総まとめ⑳	
	21	工業簿記・原価計算総まとめ㉑	
	22	工業簿記・原価計算総まとめ㉒	
	23	工業簿記・原価計算総まとめ㉓	
	24	工業簿記・原価計算総まとめ㉔	
	25	工業簿記・原価計算総まとめ㉕	
	26	総合問題対策①（テスト形式の問題解説）	
	27	総合問題対策②（テスト形式の問題解説）	
	28	総合問題対策③（テスト形式の問題解説）	
	29	総合問題対策④（テスト形式の問題解説）	
	30	総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説）	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法入門 I
実務家教員	
学部・学科	税理士会計士学科
履修年次	1年次
開講区分	通年
科目区分	共通選択
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、会社の設立を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、会社の設立に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）
特記	
授業計画	1 個人企業と共同作業
	2 会社の概念
	3 法人性に関する諸問題
	4 4種類の会社
	5 株式会社の分類
	6 株式会社の本質的特徴
	7 株主有限責任の原則から導かれる資本制度
	8 本質的特徴から導かれる重要な制度
	9 会社設立に関する立法主義
	10 株式会社の設立手続きの流れ
	11 株式会社の設立の方法
	12 発起人の意義
	13 発起人の資格
	14 発起人の数
	15 定款の意義
	16 定款の作成
	17 定款の記載・記録事項
	18 定款の備置き、閲覧・謄写
	19 発起設立
	20 募集設立
	21 設立登記の手続き
	22 設立登記の効力
	23 変態設立事項に関する規制（規制の概要）
	24 変態設立事項に関する規制（現物出資）
	25 変態設立事項に関する規制（財産引受け）
	26 変態設立事項に関する規制（発起人の報酬）
	27 変態設立事項に関する規制（設立費用）
	28 設立無効の意義
	29 設立無効原因
	30 設立無効の訴えの制度
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論入門 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	監査手続きに関して、財務諸表監査、監査実施論に対する基礎的な枠組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査、監査実施論に対する基礎的な考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	監査とは
	2	監査の分類
	3	公認会計士の監査領域
	4	財務諸表の監査の必要性
	5	財務諸表の監査の機能
	6	監査の固有の限界
	7	二重責任の原則
	8	財務諸表の作成責任
	9	財務諸表の作成基準
	10	監査人
	11	監査業務の一年の流れ
	12	財務諸表の適正性の立証プロセス、監査証拠
	13	監査手続き（監査技術）
	14	リスク・アプローチ
	15	リスク評価手続及び評価したリスクに対応する手続
	16	IT（情報技術）
	17	監査契約に係る予備的な活動
	18	監査計画
	19	監査証拠の入手方法
	20	監査上の重要性
	21	特別な検討を必要とするリスク
	22	関連当事者との関係及び取引
	23	会計上の見積り
	24	財務諸表監査における不正の検討
	25	監査における不正リスク対応基準
	26	財務諸表監査における法令の検討
	27	グループ監査
	28	内部監査の利用
	29	専門家の業務の利用
	30	監査証拠の十分性と適切性の評価
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	財務会計論基礎Ⅰ		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科		
履修年次	1年次		
開講区分	通年		
科目区分	共通選択		
授業方法	講義		
授業時間	180時間		
授業回数	90回		
授業概要	有形固定資産、リース会計、その他の資産、社債、退職給付会計、資産除去債務に関する初歩的な会計処理を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	有形固定資産、リース会計、その他の資産、社債、退職給付会計、資産除去債務の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる		
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）		
特記			
授業計画	1	ローン・パーティシペーション	46 固定資産の減損総論
	2	デット・アサンプション	47 減損損失の判定と測定
	3	デット・エクイティ・スワップ	48 将来キャッシュ・フローの見積
	4	ゴルフ会員権	49 共用資産の減損
	5	有形固定資産総論	50 のれんの減損
	6	取得原価の決定（購入）	51 繰延資産
	7	取得原価の決定（時価建設）	52 確定給付企業年金制度（一連の会計処理）
	8	取得原価の決定（現物出資）	53 確定給付企業年金制度（従業員拠出）
	9	取得原価の決定（交換）	54 確定給付企業年金制度（数理計算上の差異）
	10	取得原価の決定（贈与）	55 確定給付企業年金制度（過去勤務費用）
	11	減価償却の概要	56 確定給付企業年金制度（年金資産の返還）
	12	減価償却（定額法）	57 確定給付企業年金制度（退職給付信託）
	13	減価償却（旧定率法）	58 確定拠出企業年金制度
	14	減価償却（200%定率法）	59 退職給付制度の終了
	15	減価償却（250%定額法）	60 資産除去債務総論
	16	減価償却（級数法）	61 見積りの変更（見積額が増加する場合）
	17	減価償却（生産高比例法）	62 見積りの変更（見積額が増加する場合）
	18	資本的支出と収益的支出	63 資産除去債務の算定（最頻値法・期待値法）
	19	総合償却	64 資産除去債務が複数の資産から構成される場合
	20	売却	65 純資産会計総論
	21	除却	66 株式の発行
	22	下取り買替え	67 剰余金の配当
	23	圧縮記帳（直接減額方式）	68 計数の変動
	24	臨時損失	69 剰余金の処分
	25	保険差益	70 自己株式
	26	特別目的会社を活用した不動産の流動化	71 分配可能額の算定①
	27	リース取引総論	72 分配可能額の算定②
	28	オペレーティング・リース	73 株主資本等変動計算書
	29	所有権移転ファイナンス・リース	74 新株予約権総論
	30	所有権移転ファイナンス・リース（割安購入選択権）	75 新株予約権の会計処理（発行者側）
	31	所有権移転外ファイナンス・リース	76 自己新株予約権
	32	所有権移転外ファイナンス・リース（残価保証）	77 新株予約権の開示
	33	維持管理費相当額	78 新株予約権の会計処理（取得者側）
	34	リース料の前払い	79 新株予約権付社債（総論）
	35	ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理①）	80 新株予約権付社債の会計処理（発行者側）①
	36	ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理②）	81 新株予約権付社債の会計処理（発行者側）②
	37	ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理③）	82 新株予約権付社債の会計処理（取得者側）①
	38	セール・アンド・リースバック取引	83 新株予約権付社債の会計処理（取得者側）②
	39	転リース取引	84 ストック・オプション（総論）
	40	無形固定資産総論	85 権利不確定による失効
	41	のれん	86 対象勤務期間
	42	研究開発費	87 段階的に権利行使が可能となる場合
	43	市場販売目的のソフトウェア	88 公正な評価単価の変動
	44	自社利用目的のソフトウェア	89 ストック・オプション数の変動
	45	投資その他の資産	90 費用の計上期間を変動させる条件変更
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	管理会計論基礎 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を習得する			
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）			
特記				
授業計画	1	総合原価計算総論	31	原価差異の計算
	2	総合原価計算	32	原価差異の原因分析
	3	直接材料費と加工費	33	原価差異の把握方法
	4	仕掛品の完成品換算	34	標準原価計算の記帳方法
	5	総合原価計算の種類	35	原価差異の会計処理
	6	単純総合原価計算（単純総合原価計算の意義）	36	仕損・減損が生じる場合（終点発生）
	7	単純総合原価計算（月末仕掛費の評価方法）	37	仕損・減損が生じる場合（始点発生）
	8	単純総合原価計算（正常仕損・正常減損の処理）	38	仕損・減損が生じる場合（途中一定点発生）
	9	単純総合原価計算（副産物・作業屑の処理）	39	財務会計と管理会計の相違
	10	単純総合原価計算（異常仕損（減損）の処理）	40	管理会計の体系
	11	工程別総合原価計算の処理	41	授業内演習①
	12	工程別計算の計算手順（累加法）	42	授業内演習②
	13	工程別計算の計算手順（通常計算方式の非累加法）	43	授業内演習③
	14	予定振替原価の利用	44	授業内演習④
	15	追加原材料の意義	45	授業内演習⑤
	16	追加原材料（増量しない場合）		
	17	組別総合原価計算の意義		
	18	組別総合原価計算の手続		
	19	等級別総合原価計算の意義		
	20	完成品原価按分法（単純総合原価計算に近い方法）		
	21	当月製造費用按分法（組別総合原価計算に近い方法）		
	22	連産品		
	23	連結原価（結合原価）の按分		
	24	連産品を副産物とみなす場合の計算		
	25	連結原価（結合原価）を按分する理由		
	26	標準原価計算総論		
	27	標準原価計算の目的		
	28	標準原価の種類		
	29	標準原価計算制度の手続		
	30	製品原価の計算		
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式会社を中心とした基礎的な概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式に関する考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	株式の意義等
	2	株主の権利・義務
	3	株主平等原則
	4	株式の譲渡
	5	自己株式の取得・処分等の制限
	6	子会社による親会社株式の取得
	7	株券
	8	株主名簿
	9	株式担保
	10	株式振替制度
	11	株式併合・株式分割・株式無償割当て・株式の消却
	12	端数の処理
	13	単元株制度
	14	株主等売渡請求の概要
	15	株主等売渡請求の手続き
	16	総説一株式会社の機関設計
	17	公開会社の機関構造の特色
	18	株主総会
	19	取締役
	20	善管注意義務と忠実義務
	21	競業避止義務
	22	利益相反取引
	23	取締役の責任
	24	取締役の第三者に対する責任
	25	取締役会の意義・設置
	26	取締役会の権限
	27	代表取締役
	28	監査役
	29	監査役会
	30	会計参与
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な枠組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	監査の品質管理
	2	監査人の交代（監査事務所間の交代）
	3	監査役等とのコミュニケーション
	4	内部統制の不備に関するコミュニケーション
	5	監査調書
	6	監査意見の内容
	7	財務諸表の適正性
	8	監査報告書
	9	無限定適正意見の場合
	10	除外事項付意見の場合
	11	個別財務諸表の監査意見と連結財務諸表の監査意見
	12	追記情報の意義
	13	追記情報と保証機能
	14	比較情報
	15	監査上の主要な検討事項
	16	継続企業の前提とは
	17	継続企業の前提に関する経営者の対応
	18	継続企業の前提に対する監査人の対応
	19	中間監査総論
	20	四半期レビュー制度
	21	特別目的会社の財務諸表の監査
	22	内部統制報告制度概要
	23	会計監査人監査制度概要
	24	金融商品取引法による企業内容開示制度
	25	公認会計士法
	26	公認会計士制度の創設・発足
	27	倫理規則の趣旨及び精神
	28	保証業務概論
	29	保証業務の位置付け
	30	公認会計士制度の創設・発足
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記論基礎 I		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科		
履修年次	1年次		
開講区分	通年		
科目区分	共通選択		
授業方法	講義		
授業時間	90時間		
授業回数	45回		
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	税効果会計 I ①（入門編）	31 外貨建会計 I ⑤（入門編）
	2	税効果会計 I ②（入門編）	32 外貨建会計 I ⑥（入門編）
	3	税効果会計 I ③（入門編）	33 リース会計 I ①（入門編）
	4	税効果会計 I ④（入門編）	34 リース会計 I ②（入門編）
	5	税効果会計 I ⑤（入門編）	35 リース会計 I ③（入門編）
	6	税効果会計 I ⑥（入門編）	36 リース会計 I ④（入門編）
	7	税効果会計 I ⑦（入門編）	37 リース会計 I ⑤（入門編）
	8	税効果会計 I ⑧（入門編）	38 リース会計 I ⑥（入門編）
	9	現在価値計算 I ①（入門編）	39 試用販売 I ①（入門編）
	10	現在価値計算 I ②（入門編）	40 試用販売 I ②（入門編）
	11	現在価値計算 I ③（入門編）	41 試用販売 I ③（入門編）
	12	保険金 I ①（入門編）	42 試用販売 I ④（入門編）
	13	保険金 I ②（入門編）	43 試用販売 I ⑤（入門編）
	14	保険金 I ③（入門編）	44 試用販売 I ⑥（入門編）
	15	新株予約権付社債 I ①（入門編）	45 確認テスト
	16	新株予約権付社債 I ②（入門編）	
	17	新株予約権付社債 I ③（入門編）	
	18	新株予約権付社債 I ④（入門編）	
	19	新株予約権付社債 I ⑤（入門編）	
	20	新株予約権付社債 I ⑥（入門編）	
	21	減損会計 I ①（入門編）	
	22	減損会計 I ②（入門編）	
	23	減損会計 I ③（入門編）	
	24	減損会計 I ④（入門編）	
	25	資産除去債務 I ①（入門編）	
	26	資産除去債務 I ②（入門編）	
	27	外貨建会計 I ①（入門編）	
	28	外貨建会計 I ②（入門編）	
	29	外貨建会計 I ③（入門編）	
	30	外貨建会計 I ④（入門編）	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	金融商品取引法の概要入門を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門）	29	純資産会計①（入門）
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門）	30	純資産会計②（入門）
	3	会計上の変更及び誤謬の訂正③（入門）	31	純資産会計③（入門）
	4	会計上の変更及び誤謬の訂正④（入門）		純資産会計④（入門）
	5	会計上の変更及び誤謬の訂正⑤（入門）		純資産会計⑤（入門）
	6	分配可能額①（入門）	32	企業結合会計①（入門）
	7	分配可能額②（入門）	33	企業結合会計②（入門）
	8	分配可能額③（入門）	34	企業結合会計③（入門）
	9	分配可能額④（入門）		企業結合会計④（入門）
	10	分配可能額⑤（入門）		企業結合会計⑤（入門）
	11	ストック・オプション①（入門）	35	事業分離会計①（入門）
	12	ストック・オプション②（入門）	36	事業分離会計②（入門）
	13	ストック・オプション③（入門）	37	事業分離会計③（入門）
	14	ストック・オプション④（入門）		事業分離会計④（入門）
	15	ストック・オプション⑤（入門）		事業分離会計⑤（入門）
	16	セール&リースバック①（入門）	38	四半期財務諸表①（入門）
	17	セール&リースバック②（入門）	39	四半期財務諸表②（入門）
	18	セール&リースバック③（入門）	40	四半期財務諸表③（入門）
	19	セール&リースバック④（入門）		四半期財務諸表④（入門）
	20	セール&リースバック⑤（入門）		四半期財務諸表⑤（入門）
	21	財務諸表等規則①（入門）	41	ヘッジ会計①（入門）
	22	財務諸表等規則②（入門）	42	ヘッジ会計②（入門）
	23	財務諸表等規則③（入門）		ヘッジ会計③（入門）
	24	財務諸表等規則④（入門）		ヘッジ会計④（入門）
	25	財務諸表等規則⑤（入門）		ヘッジ会計⑤（入門）
	26	負債①（入門）	43	包括利益①（入門）
	27	負債②（入門）	44	包括利益②（入門）
	28	負債③（入門）		包括利益③（入門）
		負債④（入門）		包括利益④（入門）
		負債⑤（入門）	45	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論) 100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）	31	貸倒れⅠ①（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）	32	貸倒れⅠ②（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）	33	貸倒れⅠ③（入門編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）	34	退職給付会計Ⅰ①（入門編）
	5	現金預金Ⅰ①（入門編）	35	退職給付会計Ⅰ②（入門編）
	6	現金預金Ⅰ②（入門編）	36	退職給付会計Ⅰ③（入門編）
	7	現金預金Ⅰ③（入門編）	37	退職給付会計Ⅰ④（入門編）
	8	債権債務Ⅰ①（入門編）	38	退職給付会計Ⅰ⑤（入門編）
	9	債権債務Ⅰ②（入門編）	39	退職給付会計Ⅰ⑥（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）	40	退職給付会計Ⅰ⑦（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）	41	退職給付会計Ⅰ⑧（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）	42	税金Ⅰ①（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）	43	税金Ⅰ②（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）	44	税金Ⅰ③（入門編）
	15	給料等Ⅰ③（入門編）	45	税金Ⅰ④（入門編）
	16	固定資産Ⅰ①（入門編）	46	社債Ⅰ①（入門編）
	17	固定資産Ⅰ②（入門編）	47	社債Ⅰ②（入門編）
	18	固定資産Ⅰ③（入門編）	48	社債Ⅰ③（入門編）
	19	固定資産Ⅰ④（入門編）	49	社債Ⅰ④（入門編）
	20	固定資産Ⅰ⑤（入門編）	50	社債Ⅰ⑤（入門編）
	21	固定資産Ⅰ⑥（入門編）	51	社債Ⅰ⑥（入門編）
	22	固定資産Ⅰ⑦（入門編）	52	純資産会計Ⅰ①（入門編）
	23	固定資産Ⅰ⑧（入門編）	53	純資産会計Ⅰ②（入門編）
	24	固定資産Ⅰ⑨（入門編）	54	純資産会計Ⅰ③（入門編）
	25	固定資産Ⅰ⑩（入門編）	55	純資産会計Ⅰ④（入門編）
	26	ソフトウェアⅠ①（入門編）	56	有価証券Ⅰ①（入門編）
	27	ソフトウェアⅠ②（入門編）	57	有価証券Ⅰ②（入門編）
	28	債権債務Ⅰ①（入門編）	58	有価証券Ⅰ③（入門編）
	29	債権債務Ⅰ②（入門編）	59	有価証券Ⅰ④（入門編）
	30	債権債務Ⅰ③（入門編）	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	会計学の入門・基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門・基礎）	31	株主資本等変動計算書（入門・基礎）
	2	個別注記表（入門・基礎）	32	減損会計（入門・基礎）
	3	現金及び預金（入門・基礎）	33	配当を受けた株主の処理（入門・基礎）
	4	債権債務（入門・基礎）	34	圧縮記帳（入門・基礎）
	5	関係会社概念（入門・基礎）	35	外貨建取引（入門・基礎）
	6	売上原価の算定（入門・基礎）	36	退職給付会計簡便法（入門・基礎）
	7	貸倒れ（入門・基礎）	37	繰延資産（入門・基礎）
	8	給料等（入門・基礎）	38	為替予約（入門・基礎）
	9	その他の引当金（入門・基礎）	39	仕入・売上げの計上基準（入門・基礎）
	10	退職給付会計（入門・基礎）	40	消費税等（入門・基礎）
	11	有形固定資産（入門・基礎）	41	他勘定振替（入門・基礎）
	12	無形固定資産（入門・基礎）	42	外貨建有価証券（入門・基礎）
	13	株主資本（入門・基礎）	43	リース会計（入門・基礎）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門・基礎）	44	証券投資信託（入門・基礎）
	15	売買目的有価証券（入門・基礎）	45	ゴルフ会員権（入門・基礎）
	16	満期保有目的の債券（入門・基礎）	46	売価還元法（入門・基礎）
	17	子会社株式・関連会社株式（入門・基礎）	47	製造業会計（入門・基礎）
	18	その他の有価証券（入門・基礎）	48	研究開発費（入門・基礎）
	19	ソフトウェア（入門・基礎）	49	新株予約権（入門・基礎）
	20	法人税等・追徴還付（入門・基礎）	50	キャッシュ・フロー計算書（入門・基礎）
	21	現在価値計算（入門・基礎）	51	損益計算書総論（入門・基礎）
	22	社債（入門・基礎）	52	貸借対照表総論（入門・基礎）
	23	利益剰余金（入門・基礎）	53	資産総論（入門・基礎）
	24	自己株式（入門・基礎）	54	棚卸資産に関する会計基準（入門・基礎）
	25	配当（入門・基礎）	55	連続意見書（入門・基礎）
	26	外形基準・租税公課（入門・基礎）	56	引当金（入門・基礎）
	27	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	57	会計観（入門・基礎）
	28	税効果会計（入門・基礎）	58	金融商品（入門・基礎）
	29	税効果注記（入門・基礎）	59	収益性の低下（入門・基礎）
	30	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記論演習		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科		
履修年次	1年次		
開講区分	通年		
科目区分	共通選択		
授業方法	演習		
授業時間	60時間		
授業回数	30回		
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	項目別答練①（入門編）	過去問演習⑥（入門編）
	2	項目別答練②（入門編）	過去問演習⑦（入門編）
	3	項目別答練③（入門編）	過去問演習⑧（入門編）
	4	項目別答練④（入門編）	過去問演習⑨（入門編）
	5	項目別答練⑤（入門編）	過去問演習⑩（入門編）
	6	基礎答練①（入門編）	22 問題演習実践①（入門編）
	7	基礎答練②（入門編）	23 問題演習実践②（入門編）
	8	基礎答練③（入門編）	24 問題演習実践③（入門編）
	9	基礎答練④（入門編）	25 問題演習実践④（入門編）
	10	基礎答練⑤（入門編）	26 問題演習実践⑤（入門編）
	11	基礎答練⑥（入門編）	27 問題演習実践⑥（入門編）
	12	基礎答練⑦（入門編）	28 問題演習実践⑦（入門編）
	13	基礎答練⑧（入門編）	29 問題演習実践⑧（入門編）
		基礎答練⑨（入門編）	問題演習実践⑨（入門編）
		基礎答練⑩（入門編）	30 模擬試験
	14	応用答練①（入門編）	
	15	応用答練②（入門編）	
	16	応用答練③（入門編）	
	17	応用答練④（入門編）	
	18	応用答練⑤（入門編）	
	19	応用答練⑥（入門編）	
	20	応用答練⑦（入門編）	
	21	応用答練⑧（入門編）	
		応用答練⑨（入門編）	
		応用答練⑩（入門編）	
		過去問演習①（入門編）	
		過去問演習②（入門編）	
		過去問演習③（入門編）	
		過去問演習④（入門編）	
		過去問演習⑤（入門編）	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論演習			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	共通選択			
授業方法	演習			
授業時間	60時間			
授業回数	30回			
授業概要	財務諸表作成の入門概要を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表論総まとめ①（入門）	16	総合問題対策③（入門）
	2	財務諸表論総まとめ①（入門）	17	総合問題対策④（入門）
	3	財務諸表論総まとめ②（入門）	18	総合問題対策④（入門）
	4	財務諸表論総まとめ②（入門）	19	総合問題対策⑤（入門）
	5	財務諸表論総まとめ③（入門）	20	総合問題対策⑤（入門）
	6	財務諸表論総まとめ③（入門）	21	総合問題対策⑥（入門）
	7	財務諸表論総まとめ④（入門）	22	総合問題対策⑥（入門）
	8	財務諸表論総まとめ④（入門）	23	総合問題対策⑦（入門）
	9	財務諸表論総まとめ⑤（入門）	24	総合問題対策⑦（入門）
	10	財務諸表論総まとめ⑤（入門）	25	総合問題対策⑧（入門）
		財務諸表論総まとめ⑥（入門）	26	総合問題対策⑧（入門）
		財務諸表論総まとめ⑥（入門）	27	総合問題対策⑨（入門）
		財務諸表論総まとめ⑦（入門）	28	総合問題対策⑨（入門）
		財務諸表論総まとめ⑦（入門）		総合問題対策⑩（入門）
		財務諸表論総まとめ⑧（入門）		総合問題対策⑩（入門）
		財務諸表論総まとめ⑧（入門）		総合問題対策⑪（入門）
		財務諸表論総まとめ⑨（入門）		総合問題対策⑪（入門）
		財務諸表論総まとめ⑨（入門）		総合問題対策⑫（入門）
		財務諸表論総まとめ⑩（入門）		総合問題対策⑫（入門）
		財務諸表論総まとめ⑩（入門）		総合問題対策⑬（入門）
		財務諸表論総まとめ⑪（入門）		総合問題対策⑬（入門）
		財務諸表論総まとめ⑪（入門）		総合問題対策⑭（入門）
		財務諸表論総まとめ⑫（入門）		総合問題対策⑭（入門）
		財務諸表論総まとめ⑫（入門）		総合問題対策⑮（入門）
		財務諸表論総まとめ⑬（入門）		総合問題対策⑮（入門）
		財務諸表論総まとめ⑬（入門）		総合問題対策⑯（入門）
		財務諸表論総まとめ⑭（入門）		総合問題対策⑯（入門）
		財務諸表論総まとめ⑭（入門）		総合問題対策⑰（入門）
		財務諸表論総まとめ⑮（入門）		総合問題対策⑰（入門）
		財務諸表論総まとめ⑮（入門）		総合問題対策⑱（入門）
	財務諸表論総まとめ⑯（入門）		総合問題対策⑱（入門）	
	財務諸表論総まとめ⑯（入門）		総合問題対策⑲（入門）	
	財務諸表論総まとめ⑰（入門）		総合問題対策⑲（入門）	
	財務諸表論総まとめ⑰（入門）		総合問題対策⑳（入門）	
	財務諸表論総まとめ⑱（入門）		総合問題対策⑳（入門）	
	財務諸表論総まとめ⑱（入門）		総合問題対策㉑（入門）	
	財務諸表論総まとめ⑲（入門）		総合問題対策㉑（入門）	
	財務諸表論総まとめ㉑（入門）		総合問題対策㉑（入門）	
	財務諸表論総まとめ㉑（入門）		総合問題対策㉒（入門）	
	11 総合問題対策①（入門）		総合問題対策㉒（入門）	
	12 総合問題対策①（入門）		総合問題対策㉓（入門）	
	13 総合問題対策②（入門）		総合問題対策㉓（入門）	
	14 総合問題対策②（入門）	29	模擬試験（計算）	
	15 総合問題対策③（入門）	30	模擬試験（理論）	
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％ 模擬試験における科目解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	FP基礎			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	FP3級の基礎を理解し、日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画①	31	タックスプランニング①
	2	ライフプランニングと資金計画②	32	タックスプランニング②
	3	ライフプランニングと資金計画③	33	タックスプランニング③
	4	ライフプランニングと資金計画④	34	タックスプランニング④
	5	ライフプランニングと資金計画⑤	35	タックスプランニング⑤
	6	ライフプランニングと資金計画⑥	36	タックスプランニング⑥
	7	ライフプランニングと資金計画⑦	37	タックスプランニング⑦
	8	ライフプランニングと資金計画⑧	38	タックスプランニング⑧
	9	ライフプランニングと資金計画⑨	39	タックスプランニング⑨
	10	ライフプランニングと資金計画⑩	40	タックスプランニング⑩
	11	ライフプランニングと資金計画⑪	41	タックスプランニング⑪
	12	ライフプランニングと資金計画⑫	42	タックスプランニング⑫
	13	リスク管理①	43	不動産①
	14	リスク管理②	44	不動産②
	15	リスク管理③	45	不動産③
	16	リスク管理④	46	不動産④
	17	リスク管理⑤	47	不動産⑤
	18	リスク管理⑥	48	不動産⑥
	19	リスク管理⑦	49	不動産⑦
	20	リスク管理⑧	50	不動産⑧
	21	リスク管理⑨	51	不動産⑨
	22	金融資産運用①	52	相続・事業承継①
	23	金融資産運用②	53	相続・事業承継②
	24	金融資産運用③	54	相続・事業承継③
	25	金融資産運用④	55	相続・事業承継④
	26	金融資産運用⑤	56	相続・事業承継⑤
	27	金融資産運用⑥	57	相続・事業承継⑥
	28	金融資産運用⑦	58	相続・事業承継⑦
	29	金融資産運用⑧	59	相続・事業承継⑧
	30	金融資産運用⑨	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	FP応用			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	共通選択			
授業方法	演習			
授業時間	60時間			
授業回数	30回			
授業概要	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、知識定着を図る			
達成目標	問題演習によりFP3級の基礎知識を定着させる			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画問題演習①	16	タックスプランニング問題演習②
	2	ライフプランニングと資金計画問題演習②	17	タックスプランニング問題演習③
	3	ライフプランニングと資金計画問題演習③	18	タックスプランニング問題演習④
	4	ライフプランニングと資金計画問題演習④	19	タックスプランニング問題演習⑤
	5	ライフプランニングと資金計画問題演習⑤	20	タックスプランニング問題演習⑥
	6	ライフプランニングと資金計画問題演習⑥	21	不動産問題演習①
	7	リスク管理問題演習①	22	不動産問題演習②
	8	リスク管理問題演習②	23	不動産問題演習③
	9	リスク管理問題演習③	24	不動産問題演習④
	10	リスク管理問題演習④	25	不動産問題演習⑤
	11	金融資産運用問題演習①	26	相続・事業承継問題演習①
	12	金融資産運用問題演習②	27	相続・事業承継問題演習②
	13	金融資産運用問題演習③	28	相続・事業承継問題演習③
	14	金融資産運用問題演習④	29	相続・事業承継問題演習④
	15	タックスプランニング問題演習①	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	FP総合		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科		
履修年次	2年次		
開講区分	前期		
科目区分	共通選択		
授業方法	演習		
授業時間	90時間		
授業回数	45回		
授業概要	「お金」に関する総合的な知識を深め、経済社会との関係性を理解する		
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る		
達成目標	FP3級に合格できるレベルの知識を身につける		
教科書	外販テキスト		
特記			
授業計画	1	過去問研究①	31 直前答案練習①
	2	過去問研究②	32 直前答案練習②
	3	過去問研究③	33 直前答案練習③
	4	過去問研究④	34 直前答案練習④
	5	過去問研究⑤	35 直前答案練習⑤
	6	過去問研究⑥	36 直前答案練習⑥
	7	過去問研究⑦	37 直前答案練習⑦
	8	過去問研究⑧	38 直前答案練習⑧
	9	過去問研究⑨	39 直前答案練習⑨
	10	過去問研究⑩	40 直前答案練習⑩
	11	過去問研究⑪	41 直前答案練習⑪
	12	過去問研究⑫	42 直前答案練習⑫
	13	過去問研究⑬	43 直前答案練習⑬
	14	過去問研究⑭	44 直前答案練習⑭
	15	過去問研究⑮	45 直前答案練習⑮
	16	過去問研究⑯	
	17	過去問研究⑰	
	18	過去問研究⑱	
	19	過去問研究⑲	
	20	過去問研究⑳	
	21	過去問研究㉑	
	22	過去問研究㉒	
	23	過去問研究㉓	
	24	過去問研究㉔	
	25	過去問研究㉕	
	26	過去問研究㉖	
	27	過去問研究㉗	
	28	過去問研究㉘	
	29	過去問研究㉙	
	30	過去問研究㉚	
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	財務会計		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科		
履修年次	2年次		
開講区分	後期		
科目区分	共通選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	90時間		
授業回数	45回		
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度を理解するための講義		
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身につく」へステップアップを図る		
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	外貨建会計①	31 消費税法⑥
	2	外貨建会計②	32 消費税法⑦
	3	外貨建会計③	33 消費税法⑧
	4	外貨建会計④	34 消費税法⑨
	5	リース取引①	35 消費税法⑩
	6	リース取引②	36 法人税法①
	7	リース取引③	37 法人税法②
	8	リース取引④	38 法人税法③
	9	キャッシュ・フロー計算書①	39 法人税法④
	10	キャッシュ・フロー計算書②	40 法人税法⑤
	11	キャッシュ・フロー計算書③	41 法人税法⑥
	12	キャッシュ・フロー計算書④	42 法人税法⑦
	13	キャッシュ・フロー計算書⑤	43 法人税法⑧
	14	キャッシュ・フロー計算書⑥	44 法人税法⑨
	15	税効果会計①	45 確認テスト
	16	税効果会計②	
	17	税効果会計③	
	18	税効果会計④	
	19	税効果会計⑤	
	20	税効果会計⑥	
	21	退職給付会計①	
	22	退職給付会計②	
	23	退職給付会計③	
	24	退職給付会計④	
	25	退職給付会計⑤	
	26	消費税法①	
	27	消費税法②	
	28	消費税法③	
	29	消費税法④	
	30	消費税法⑤	
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	販売知識基礎		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科		
履修年次	2年次		
開講区分	通年		
科目区分	共通選択		
授業方法	講義		
授業時間	90時間		
授業回数	45回		
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身につける		
教科書	外販テキスト		
特記			
授業計画	1	販売員の役割①	31 商業集積④
	2	販売員の役割②	32 商業集積⑤
	3	販売員の役割③	33 商業集積⑥
	4	販売員の法廷知識①	34 小売業のマーケティング①
	5	販売員の法廷知識②	35 小売業のマーケティング②
	6	販売員の法廷知識③	36 小売業のマーケティング③
	7	小売業の計数管理①	37 小売業のマーケティング④
	8	小売業の計数管理②	38 小売業のマーケティング⑤
	9	小売業の計数管理③	39 小売業のマーケティング⑥
	10	店舗管理①	40 顧客満足経営①
	11	店舗管理②	41 顧客満足経営②
	12	店舗管理③	42 顧客満足経営③
	13	店舗管理④	43 顧客満足経営④
	14	店舗管理⑤	44 顧客満足経営⑤
	15	店舗管理⑥	45 確認テスト
	16	流通における小売業①	
	17	流通における小売業②	
	18	流通における小売業③	
	19	流通における小売業④	
	20	流通における小売業⑤	
	21	流通における小売業⑥	
	22	組織形態別小売業①	
	23	組織形態別小売業②	
	24	組織形態別小売業③	
	25	店舗形態別小売業①	
	26	店舗形態別小売業②	
	27	店舗形態別小売業③	
	28	商業集積①	
	29	商業集積②	
	30	商業集積③	
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	販売知識応用		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科		
履修年次	2年次		
開講区分	通年		
科目区分	共通選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	30時間		
授業回数	15回		
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	リテールマーケティング検定3級レベルの知識を理解し身につける		
教科書	外販テキスト		
特記			
授業計画	1	証券の設定と出店①	11 商品計画①
		証券の設定と出店②	商品計画②
		証券の設定と出店③	商品計画③
	2	リージョナルプロモーション①	12 販売計画及び仕入れ計画①
		リージョナルプロモーション②	販売計画及び仕入れ計画②
		リージョナルプロモーション③	販売計画及び仕入れ計画③
	3	顧客志向型売り場づくり①	13 価格設定①
		顧客志向型売り場づくり②	価格設定②
		顧客志向型売り場づくり③	価格設定③
	4	ストアオペレーション①	14 在庫管理①
		ストアオペレーション②	在庫管理②
		ストアオペレーション③	在庫管理③
	5	ストアオペレーション④	15 販売管理①
		ストアオペレーション⑤	販売管理②
		ストアオペレーション⑥	確認テスト
	6	梱包技術①	
		梱包技術②	
		梱包技術③	
	7	ディスプレイ①	
		ディスプレイ②	
		ディスプレイ③	
	8	商品①	
		商品②	
		商品③	
	9	マーチャンダイジング①	
		マーチャンダイジング②	
		マーチャンダイジング③	
	10	マーチャンダイジング④	
		マーチャンダイジング⑤	
		マーチャンダイジング⑥	
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	グループワークとは
	2	企画立案の流れ
	3	企画立案①
	4	企画立案②
	5	企画立案③
	6	企画立案④
	7	企画立案⑤
	8	企画書作成①
	9	企画書作成②
	10	企画書作成③
	11	プレゼン準備①
	12	プレゼン準備②
	13	プレゼン準備③
	14	発表①
	15	発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究・発表			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	共通選択			
授業方法	演習			
授業時間	60時間			
授業回数	30回			
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する			
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る			
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する			
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト			
特記				
授業計画	1	企画作成①	16	オンラインプレゼン方法①
	2	企画作成②	17	オンラインプレゼン方法②
	3	企画作成③	18	オンラインプレゼン方法③
	4	企画作成④	19	企画のブラッシュアップ⑨
	5	企画作成⑤	20	企画のブラッシュアップ⑩
	6	中間発表①	21	企画のブラッシュアップ⑪
	7	中間発表②	22	企画のブラッシュアップ⑫
	8	企画のブラッシュアップ①	23	企画のブラッシュアップ⑬
	9	企画のブラッシュアップ②	24	企画のブラッシュアップ⑭
	10	企画のブラッシュアップ③	25	企画のブラッシュアップ⑮
	11	企画のブラッシュアップ④	26	企画のブラッシュアップ⑯
	12	企画のブラッシュアップ⑤	27	企画発表（校内）①
	13	企画のブラッシュアップ⑥	28	企画発表（校内）②
	14	企画のブラッシュアップ⑦	29	企画発表（企業向け）①
	15	企画のブラッシュアップ⑧	30	企画発表（企業向け）②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業前特別講座	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	
授業の進め方	様々な業界の方からの講演を聞く	
達成目標	講演、講座、研修を通じて、自身の将来の姿をイメージすることができる	
教科書	レジュメ	
特記		
授業計画	1	キャリア講演会①
	2	敬語講座①
	3	ビジネスマナー研修①
	4	キャリア講演会②
	5	キャリア講演会③
	6	敬語講座②
	7	ビジネスマナー研修②
	8	キャリア講演会④
	9	キャリア講演会⑤
	10	敬語講座③
	11	ビジネスマナー研修③
	12	キャリア講演会⑥
	13	キャリア講演会⑦
	14	敬語講座④
	15	振返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英会話入門	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	自己紹介など①
	2	自己紹介など②
	3	趣味など①
	4	趣味など②
	5	健康や習慣など①
	6	健康や習慣など②
	7	場所と道案内など①
	8	場所と道案内など②
	9	説明の仕方など①
	10	説明の仕方など②
	11	目標や夢など①
	12	目標や夢など②
	13	演習①
	14	演習②
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 筆記・実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	言語知識（中国語）Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る。	
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る。	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	中国語発音の基礎(1) 四つの声調・六つの基本母音・複合母音
	2	中国語発音の基礎(2) 21の子音・鼻音・声調変化
	3	中国語発音の基礎(3) 声調と変調・r化現象・発音のおさらい
	4	簡単な日常挨拶(1) 人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について
	5	簡単な日常挨拶(2) 基本的語順（是or動詞を述語とする場合）・丁寧語について
	6	数字を覚えよう 年, 月, 日, 曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」
	7	数字の活用 「是」の省略・金額の言い方・否定を表す「不」時刻と時間の長さの言い方・副詞「也」・疑問詞「怎么样」
	8	存在・所有の表現 動詞「有」・否定「没有」・「什么」＋名詞
	9	場所の表現 場所指示代名詞「这里」「那里」「哪里」・前置詞構造「在」
	10	買い物をする／値段を聞く&値段交渉する 人民元の数え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語気助詞「了」
	11	乗り換えと両替 「必要・なければならない」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看々」
	12	「是～的」の構文・結果補語・経験を表す文型「動詞＋过～」・まだ～していない「还没(有)～」
	13	確認する→もうすぐ～「要～了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「～、还是～」
	14	お客さんの出迎え&歓迎会 連体修飾語としての動詞、動詞構造、主述構造・程度補語「得」
	15	別れを告げる&総復習 仮説を表す「～的话」, 「要是～就～」・これまで習ってきた内容を総復習する
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 筆記・実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	言語知識（韓国語）Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	韓国人ネイティブ講師による講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	1. 読み書きができる。 2. 以下の簡単な会話ができる ①挨拶&自己紹介、②買い物でのやりとり、③店での注文、④道などを尋ねる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	オリエンテーション；韓国語に関する豆知識 基本母音
	2	基本子音①説明&子音「K」 復習と会話
	3	小テスト 基本子音②－「N」 & 「T」 & 「R」 基本子音③－「M」 & 「P」 & 「S」
	4	復習と会話 基本子音④－「J」 & 「H」 +まとめ
	5	小テスト 激音①－「Ch」 & 「Kh」 復習と会話
	6	激音②－「Th」 & 「Ph」 +まとめ 濃音①－「KK」 & 「TT」 & 「PP」
	7	小テスト 復習と会話 濃音②－「SS」 & 「JJ」 +まとめ
	8	パッチム① [P20の説明、P23N] 復習と会話
	9	小テスト パッチム② [P20K、P21B] パッチム③ [P22M、P21NG]
	10	復習と会話 パッチム④ [P23L、P22T] +まとめ
	11	小テスト 合成母音① [P25&26の説明] 復習と会話
	12	合成母音② [P27、28] <1課>私は日本人です。
	13	小テスト 宿題チェック <1課>私は日本人です。
	14	まとめ <1課>宿題チェック／総復習
	15	最終到達度確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 筆記・実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論応用 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	本支店会計 I ①（入門編）
	2	本支店会計 I ②（入門編）
	3	本支店会計 I ③（入門編）
	4	本支店会計 I ④（入門編）
	5	本支店会計 I ⑤（入門編）
	6	本支店会計 I ⑥（入門編）
	7	組織再編会計 I ①（入門編）
	8	組織再編会計 I ②（入門編）
	9	組織再編会計 I ③（入門編）
	10	組織再編会計 I ④（入門編）
	11	建設業会計 I ①（入門編）
	12	建設業会計 I ②（入門編）
	13	連結会計 I ①（入門編）
	14	連結会計 I ②（入門編）
	15	連結会計 I ③（入門編）
	16	連結会計 I ④（入門編）
	17	製造業会計 I ①（入門編）
	18	製造業会計 I ②（入門編）
	19	製造業会計 I ③（入門編）
	20	製造業会計 I ④（入門編）
	21	キャッシュ・フロー計算書 I ①（入門編）
	22	キャッシュ・フロー計算書 I ②（入門編）
	23	キャッシュ・フロー計算書 I ③（入門編）
	24	キャッシュ・フロー計算書 I ④（入門編）
	25	繰延資産 I ①（入門編）
	26	繰延資産 I ②（入門編）
	27	圧縮記帳 I ①（入門編）
	28	圧縮記帳 I ②（入門編）
	29	ストック・オプション I（入門編）
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	共通選択			
授業方法	演習			
授業時間	180時間			
授業回数	90回			
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	現金預金Ⅱ①（入門編）	46	項目別答練②（入門編）
	2	債権債務Ⅱ①（入門編）	47	項目別答練③（入門編）
	3	商品売買Ⅱ①（入門編）	48	項目別答練④（入門編）
	4	商品売買Ⅱ②（入門編）	49	項目別答練⑤（入門編）
	5	商品売買Ⅱ③（入門編）	50	項目別答練⑥（入門編）
	6	固定資産Ⅱ①（入門編）	51	基礎答練①（入門編）
	7	固定資産Ⅱ②（入門編）	52	基礎答練②（入門編）
	8	固定資産Ⅱ③（入門編）	53	基礎答練③（入門編）
	9	退職給付会計Ⅱ①（入門編）	54	基礎答練④（入門編）
	10	退職給付会計Ⅱ②（入門編）	55	基礎答練⑤（入門編）
	11	退職給付会計Ⅱ③（入門編）	56	基礎答練⑥（入門編）
	12	債権債務Ⅱ①（入門編）	57	基礎答練⑦（入門編）
	13	債権債務Ⅱ②（入門編）	58	基礎答練⑧（入門編）
	14	税金Ⅱ①（入門編）	59	基礎答練⑨（入門編）
	15	社債Ⅱ①（入門編）	60	基礎答練⑩（入門編）
	16	社債Ⅱ②（入門編）	61	応用答練①（入門編）
	17	社債Ⅱ③（入門編）	62	応用答練②（入門編）
	18	純資産会計Ⅱ①（入門編）	63	応用答練③（入門編）
	19	純資産会計Ⅱ②（入門編）	64	応用答練④（入門編）
	20	純資産会計Ⅱ③（入門編）	65	応用答練⑤（入門編）
	21	有価証券Ⅱ①（入門編）	66	応用答練⑥（入門編）
	22	有価証券Ⅱ②（入門編）	67	応用答練⑦（入門編）
	23	有価証券Ⅱ③（入門編）	68	応用答練⑧（入門編）
	24	外貨建会計Ⅱ①（入門編）	69	応用答練⑨（入門編）
	25	外貨建会計Ⅱ②（入門編）	70	応用答練⑩（入門編）
	26	リース会計Ⅱ①（入門編）	71	過去問演習①（入門編）
	27	リース会計Ⅱ②（入門編）	72	過去問演習②（入門編）
	28	試用販売Ⅱ①（入門編）	73	過去問演習③（入門編）
	29	試用販売Ⅱ②（入門編）	74	過去問演習④（入門編）
	30	割賦販売Ⅱ①（入門編）	75	過去問演習⑤（入門編）
	31	割賦販売Ⅱ②（入門編）	76	過去問演習⑥（入門編）
	32	割賦販売Ⅱ③（入門編）	77	過去問演習⑦（入門編）
	33	未着品販売Ⅱ①（入門編）	78	過去問演習⑧（入門編）
	34	未着品販売Ⅱ②（入門編）	79	過去問演習⑨（入門編）
	35	委託販売・受託販売Ⅱ①（入門編）	80	過去問演習⑩（入門編）
	36	委託販売・受託販売Ⅱ②（入門編）	81	問題演習実践①（入門編）
	37	本支店会計Ⅱ①（入門編）	82	問題演習実践②（入門編）
	38	本支店会計Ⅱ②（入門編）	83	問題演習実践③（入門編）
	39	組織再編会計Ⅱ①（入門編）	84	問題演習実践④（入門編）
	40	組織再編会計Ⅱ②（入門編）	85	問題演習実践⑤（入門編）
	41	連結会計Ⅱ①（入門編）	86	問題演習実践⑥（入門編）
	42	連結会計Ⅱ②（入門編）	87	問題演習実践⑦（入門編）
	43	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①（入門編）	88	問題演習実践⑧（入門編）
	44	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ②（入門編）	89	問題演習実践⑨（入門編）
	45	項目別答練①（入門編）	90	模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論応用 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	会社法の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	金利スワップ①（入門）
	2	金利スワップ②（入門）
	3	金利スワップ③（入門）
	4	金利スワップ④（入門）
	5	金利スワップ⑤（入門）
	6	資産及び負債の貸借対照表能力①（入門）
	7	資産及び負債の貸借対照表能力②（入門）
	8	資産及び負債の貸借対照表能力③（入門）
	9	資産及び負債の貸借対照表能力④（入門）
	10	資産及び負債の貸借対照表能力⑤（入門）
	11	投資のリスクからの解放①（入門）
	12	投資のリスクからの解放②（入門）
	13	投資のリスクからの解放③（入門）
	14	投資のリスクからの解放④（入門）
	15	投資のリスクからの解放⑤（入門）
	16	配分と評価①（入門）
	17	配分と評価②（入門）
	18	配分と評価③（入門）
	19	配分と評価④（入門）
	20	配分と評価⑤（入門）
	21	収益認識①（入門）
	22	収益認識②（入門）
	23	収益認識③（入門）
	24	収益認識④（入門）
	25	収益認識⑤（入門）
	26	組織再①（入門）
	27	組織再②（入門）
	28	組織再③（入門）
	29	組織再④（入門）
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	共通選択			
授業方法	演習			
授業時間	180時間			
授業回数	90回			
授業概要	財務諸表作成の入門概要を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表論総まとめ①（入門）	46	総合問題対策③（入門）
	2	財務諸表論総まとめ①（入門）	47	総合問題対策④（入門）
	3	財務諸表論総まとめ②（入門）	48	総合問題対策④（入門）
	4	財務諸表論総まとめ②（入門）	49	総合問題対策⑤（入門）
	5	財務諸表論総まとめ③（入門）	50	総合問題対策⑤（入門）
	6	財務諸表論総まとめ③（入門）	51	総合問題対策⑥（入門）
	7	財務諸表論総まとめ④（入門）	52	総合問題対策⑥（入門）
	8	財務諸表論総まとめ④（入門）	53	総合問題対策⑦（入門）
	9	財務諸表論総まとめ⑤（入門）	54	総合問題対策⑦（入門）
	10	財務諸表論総まとめ⑤（入門）	55	総合問題対策⑧（入門）
	11	財務諸表論総まとめ⑥（入門）	56	総合問題対策⑧（入門）
	12	財務諸表論総まとめ⑥（入門）	57	総合問題対策⑨（入門）
	13	財務諸表論総まとめ⑦（入門）	58	総合問題対策⑨（入門）
	14	財務諸表論総まとめ⑦（入門）	59	総合問題対策⑩（入門）
	15	財務諸表論総まとめ⑧（入門）	60	総合問題対策⑩（入門）
	16	財務諸表論総まとめ⑧（入門）	61	総合問題対策⑪（入門）
	17	財務諸表論総まとめ⑨（入門）	62	総合問題対策⑪（入門）
	18	財務諸表論総まとめ⑨（入門）	63	総合問題対策⑫（入門）
	19	財務諸表論総まとめ⑩（入門）	64	総合問題対策⑫（入門）
	20	財務諸表論総まとめ⑩（入門）	65	総合問題対策⑬（入門）
	21	財務諸表論総まとめ⑪（入門）	66	総合問題対策⑬（入門）
	22	財務諸表論総まとめ⑪（入門）	67	総合問題対策⑭（入門）
	23	財務諸表論総まとめ⑫（入門）	68	総合問題対策⑭（入門）
	24	財務諸表論総まとめ⑫（入門）	69	総合問題対策⑮（入門）
	25	財務諸表論総まとめ⑬（入門）	70	総合問題対策⑮（入門）
	26	財務諸表論総まとめ⑬（入門）	71	総合問題対策⑯（入門）
	27	財務諸表論総まとめ⑭（入門）	72	総合問題対策⑯（入門）
	28	財務諸表論総まとめ⑭（入門）	73	総合問題対策⑰（入門）
	29	財務諸表論総まとめ⑮（入門）	74	総合問題対策⑰（入門）
	30	財務諸表論総まとめ⑮（入門）	75	総合問題対策⑱（入門）
	31	財務諸表論総まとめ⑯（入門）	76	総合問題対策⑱（入門）
	32	財務諸表論総まとめ⑯（入門）	77	総合問題対策⑲（入門）
	33	財務諸表論総まとめ⑰（入門）	78	総合問題対策⑲（入門）
	34	財務諸表論総まとめ⑰（入門）	79	総合問題対策⑳（入門）
	35	財務諸表論総まとめ⑱（入門）	80	総合問題対策㉑（入門）
	36	財務諸表論総まとめ⑱（入門）	81	総合問題対策㉑（入門）
	37	財務諸表論総まとめ⑲（入門）	82	総合問題対策㉑（入門）
	38	財務諸表論総まとめ⑲（入門）	83	総合問題対策㉒（入門）
	39	財務諸表論総まとめ㉑（入門）	84	総合問題対策㉒（入門）
	40	財務諸表論総まとめ㉑（入門）	85	総合問題対策㉓（入門）
	41	総合問題対策①（入門）	86	総合問題対策㉓（入門）
	42	総合問題対策①（入門）	87	総合問題対策㉔（入門）
	43	総合問題対策②（入門）	88	総合問題対策㉔（入門）
	44	総合問題対策②（入門）	89	模擬試験（計算）
	45	総合問題対策③（入門）	90	模擬試験（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの得点100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（基礎編）	31	新株予約権付社債Ⅰ②（基礎編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（基礎編）	32	新株予約権付社債Ⅰ③（基礎編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（基礎編）	33	新株予約権付社債Ⅰ④（基礎編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（基礎編）	34	新株予約権付社債Ⅰ⑤（基礎編）
	5	現金預金Ⅰ①（基礎編）	35	新株予約権付社債Ⅰ⑥（基礎編）
	6	現金預金Ⅰ②（基礎編）	36	減損会計Ⅰ①（基礎編）
	7	現金預金Ⅰ③（基礎編）	37	減損会計Ⅰ②（基礎編）
	8	債権債務Ⅰ①（基礎編）	38	減損会計Ⅰ③（基礎編）
	9	債権債務Ⅰ②（基礎編）	39	減損会計Ⅰ④（基礎編）
	10	商品売買Ⅰ①（基礎編）	40	資産除去債務Ⅰ①（基礎編）
	11	商品売買Ⅰ②（基礎編）	41	資産除去債務Ⅰ②（基礎編）
	12	商品売買Ⅰ③（基礎編）	42	外貨建会計Ⅰ①（基礎編）
	13	給料等Ⅰ①（基礎編）	43	外貨建会計Ⅰ②（基礎編）
	14	給料等Ⅰ②（基礎編）	44	外貨建会計Ⅰ③（基礎編）
	15	確認テスト	45	外貨建会計Ⅰ④（基礎編）
	16	税効果会計Ⅰ①（基礎編）	46	外貨建会計Ⅰ⑤（基礎編）
	17	税効果会計Ⅰ②（基礎編）	47	外貨建会計Ⅰ⑥（基礎編）
	18	税効果会計Ⅰ③（基礎編）	48	リース会計Ⅰ①（基礎編）
	19	税効果会計Ⅰ④（基礎編）	49	リース会計Ⅰ②（基礎編）
	20	税効果会計Ⅰ⑤（基礎編）	50	リース会計Ⅰ③（基礎編）
	21	税効果会計Ⅰ⑥（基礎編）	51	リース会計Ⅰ④（基礎編）
	22	税効果会計Ⅰ⑦（基礎編）	52	リース会計Ⅰ⑤（基礎編）
	23	税効果会計Ⅰ⑧（基礎編）	53	リース会計Ⅰ⑥（基礎編）
	24	現在価値計算Ⅰ①（基礎編）	54	試用販売Ⅰ①（基礎編）
	25	現在価値計算Ⅰ②（基礎編）	55	試用販売Ⅰ②（基礎編）
	26	現在価値計算Ⅰ③（基礎編）	56	試用販売Ⅰ③（基礎編）
	27	保険金Ⅰ①（基礎編）	57	試用販売Ⅰ④（基礎編）
	28	保険金Ⅰ②（基礎編）	58	試用販売Ⅰ⑤（基礎編）
	29	保険金Ⅰ③（基礎編）	59	試用販売Ⅰ⑥（基礎編）
	30	新株予約権付社債Ⅰ①（基礎編）	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの得点100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	割賦販売Ⅰ①（基礎編）	31	税金Ⅰ①（基礎編）
	2	割賦販売Ⅰ②（基礎編）	32	税金Ⅰ②（基礎編）
	3	割賦販売Ⅰ③（基礎編）	33	社債Ⅰ①（基礎編）
	4	割賦販売Ⅰ④（基礎編）	34	社債Ⅰ②（基礎編）
	5	割賦販売Ⅰ⑤（基礎編）	35	社債Ⅰ③（基礎編）
	6	割賦販売Ⅰ⑥（基礎編）	36	社債Ⅰ④（基礎編）
	7	未着品販売Ⅰ①（基礎編）	37	純資産会計Ⅰ①（基礎編）
	8	未着品販売Ⅰ②（基礎編）	38	純資産会計Ⅰ②（基礎編）
	9	未着品販売Ⅰ③（基礎編）	39	純資産会計Ⅰ③（基礎編）
	10	未着品販売Ⅰ④（基礎編）	40	純資産会計Ⅰ④（基礎編）
	11	委託販売・受託販売Ⅰ①（基礎編）	41	有価証券Ⅰ①（基礎編）
	12	委託販売・受託販売Ⅰ②（基礎編）	42	有価証券Ⅰ②（基礎編）
	13	委託販売・受託販売Ⅰ③（基礎編）	43	有価証券Ⅰ③（基礎編）
	14	委託販売・受託販売Ⅰ④（基礎編）	44	有価証券Ⅰ④（基礎編）
	15	委託販売・受託販売Ⅰ⑤（基礎編）	45	本支店会計Ⅰ①（基礎編）
	16	固定資産Ⅰ①（基礎編）	46	本支店会計Ⅰ②（基礎編）
	17	固定資産Ⅰ②（基礎編）	47	本支店会計Ⅰ③（基礎編）
	18	固定資産Ⅰ③（基礎編）	48	本支店会計Ⅰ④（基礎編）
	19	固定資産Ⅰ④（基礎編）	49	本支店会計Ⅰ⑤（基礎編）
	20	ソフトウェアⅠ①（基礎編）	50	本支店会計Ⅰ⑥（基礎編）
	21	ソフトウェアⅠ②（基礎編）	51	組織再編会計Ⅰ①（基礎編）
	22	ソフトウェアⅠ③（基礎編）	52	組織再編会計Ⅰ②（基礎編）
	23	債権債務Ⅰ①（基礎編）	53	組織再編会計Ⅰ③（基礎編）
	24	債権債務Ⅰ②（基礎編）	54	組織再編会計Ⅰ④（基礎編）
	25	貸倒れⅠ①（基礎編）	55	建設業会計Ⅰ①（基礎編）
	26	貸倒れⅠ②（基礎編）	56	建設業会計Ⅰ②（基礎編）
	27	退職給付会計Ⅰ①（基礎編）	57	連結会計Ⅰ①（基礎編）
	28	退職給付会計Ⅰ②（基礎編）	58	連結会計Ⅰ②（基礎編）
	29	退職給付会計Ⅰ③（基礎編）	59	連結会計Ⅰ③（基礎編）
	30	退職給付会計Ⅰ④（基礎編）	60	連結会計Ⅰ④（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの得点100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論速習 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	会計学の基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（基礎）	31	源泉所得税、社会保険料（基礎）
	2	個別注記表（基礎）	32	株主資本等変動計算書（基礎）
	3	現金及び預金（基礎）	33	減損会計（基礎）
	4	債権債務（基礎）	34	配当を受けた株主の処理（基礎）
	5	関係会社概念（基礎）	35	圧縮記帳（基礎）
	6	売上原価の算定（基礎）	36	外貨建取引（基礎）
	7	貸倒れ（基礎）	37	退職給付会計簡便法（基礎）
	8	給料等（基礎）	38	繰延資産（基礎）
	9	その他の引当金（基礎）	39	為替予約（基礎）
	10	退職給付会計（基礎）	40	仕入・売上げの計上基準（基礎）
	11	有形固定資産（基礎）	41	消費税等（基礎）
	12	無形固定資産（基礎）	42	他勘定振替（基礎）
	13	株主資本（基礎）	43	外貨建有価証券（基礎）
	14	財務諸表論の基礎概念（基礎）	44	リース会計（基礎）
	15	確認テスト(理論)	45	証券投資信託（基礎）
	16	売買目的有価証券（基礎）	46	ゴルフ会員権（基礎）
	17	満期保有目的の債券（基礎）	47	売価還元法（基礎）
	18	子会社株式・関連会社株式（基礎）	48	製造業会計（基礎）
	19	その他有価証券（基礎）	49	研究開発費（基礎）
	20	ソフトウェア（基礎）	50	新株予約権（基礎）
	21	法人税等・追徴還付（基礎）	51	キャッシュ・フロー計算書（基礎）
	22	現在価値計算（基礎）	52	損益計算書総論（基礎）
	23	社債（基礎）	53	貸借対照表総論（基礎）
	24	利益剰余金（基礎）	54	資産総論（基礎）
	25	自己株式（基礎）	55	棚卸資産に関する会計基準（基礎）
	26	配当（基礎）	56	連続意見書（基礎）
	27	外形基準・租税公課（基礎）	57	引当金（基礎）
	28	源泉所得税、社会保険料（基礎）	58	会計観（基礎）
	29	税効果会計（基礎）	59	金融商品（基礎）
	30	税効果注記（基礎）	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論速習Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	会計学の基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	純資産会計①（基礎）	31	セール&リースバック①（基礎）
	2	純資産会計②（基礎）	32	セール&リースバック②（基礎）
	3	純資産会計③（基礎）	33	セール&リースバック③（基礎）
	4	純資産会計④（基礎）	34	セール&リースバック④（基礎）
	5	純資産会計⑤（基礎）	35	セール&リースバック⑤（基礎）
	6	企業結合会計①（基礎）	36	財務諸表等規則①（基礎）
	7	企業結合会計②（基礎）	37	財務諸表等規則②（基礎）
	8	企業結合会計③（基礎）	38	財務諸表等規則③（基礎）
	9	企業結合会計④（基礎）	39	財務諸表等規則④（基礎）
	10	企業結合会計⑤（基礎）	40	財務諸表等規則⑤（基礎）
	11	事業分離会計①（基礎）	41	負債①（基礎）
	12	事業分離会計②（基礎）	42	負債②（基礎）
	13	事業分離会計③（基礎）	43	負債③（基礎）
	14	事業分離会計④（基礎）	44	負債④（基礎）
	15	事業分離会計⑤（基礎）	45	金利スワップ①（基礎）
	16	会計上の変更及び誤謬の訂正①（基礎）	46	金利スワップ②（基礎）
	17	会計上の変更及び誤謬の訂正②（基礎）	47	金利スワップ③（基礎）
	18	会計上の変更及び誤謬の訂正③（基礎）	48	金利スワップ④（基礎）
	19	会計上の変更及び誤謬の訂正④（基礎）	49	金利スワップ⑤（基礎）
	20	会計上の変更及び誤謬の訂正⑤（基礎）	50	資産及び負債の貸借対照表能力①（基礎）
	21	分配可能額①（基礎）	51	資産及び負債の貸借対照表能力②（基礎）
	22	分配可能額②（基礎）	52	資産及び負債の貸借対照表能力③（基礎）
	23	分配可能額③（基礎）	53	資産及び負債の貸借対照表能力④（基礎）
	24	分配可能額④（基礎）	54	資産及び負債の貸借対照表能力⑤（基礎）
	25	分配可能額⑤（基礎）	55	投資のリスクからの解放①（基礎）
	26	ストック・オプション①（基礎）	56	投資のリスクからの解放②（基礎）
	27	ストック・オプション②（基礎）	57	投資のリスクからの解放③（基礎）
	28	ストック・オプション③（基礎）	58	投資のリスクからの解放④（基礎）
	29	ストック・オプション④（基礎）	59	投資のリスクからの解放⑤（基礎）
	30	ストック・オプション⑤（基礎）	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	控除税額を中心とした考え方を学習する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス	31	課税仕入れの範囲⑤（入門編）
	2	課税の対象①（入門編）	32	課税仕入れの範囲⑥（入門編）
	3	課税の対象②（入門編）	33	課税仕入れ等の時期①（入門編）
	4	課税の対象③（入門編）	34	課税仕入れ等の時期②（入門編）
	5	課税の対象④（入門編）	35	課税仕入れ等の時期③（入門編）
	6	非課税①（入門編）	36	課税仕入れ等の時期④（入門編）
	7	非課税②（入門編）	37	課税仕入れ等の時期⑤（入門編）
	8	非課税③（入門編）	38	課税売上割合①（入門編）
	9	非課税④（入門編）	39	課税売上割合②（入門編）
	10	輸出免税等①（入門編）	40	課税売上割合③（入門編）
	11	輸出免税等②（入門編）	41	課税売上割合④（入門編）
	12	輸出免税等③（入門編）	42	課税売上割合⑤（入門編）
	13	輸出免税等④（入門編）	43	課税売上割合⑥（入門編）
	14	資産の譲渡等の時期（入門編）	44	課税売上割合⑦（入門編）
	15	控除対象仕入税額①（入門編）	45	課税期間における課税売上高①（入門編）
	16	控除対象仕入税額②（入門編）	46	課税期間における課税売上高②（入門編）
	17	控除対象仕入税額③（入門編）	47	課税期間における課税売上高③（入門編）
	18	控除対象仕入税額④（入門編）	48	課税売上割合に準ずる割合①（入門編）
	19	控除対象仕入税額⑤（入門編）	49	課税売上割合に準ずる割合②（入門編）
	20	控除対象仕入税額⑥（入門編）	50	課税売上割合に準ずる割合③（入門編）
	21	売上げに係る対価の返還等①（入門編）	51	仕入れに係る対価の返還等①（入門編）
	22	売上げに係る対価の返還等②（入門編）	52	仕入れに係る対価の返還等②（入門編）
	23	売上げに係る対価の返還等③（入門編）	53	仕入れに係る対価の返還等③（入門編）
	24	貸倒れが生じた場合①（入門編）	54	納税義務の免除①（入門編）
	25	貸倒れが生じた場合②（入門編）	55	納税義務の免除②（入門編）
	26	貸倒れが生じた場合③（入門編）	56	納税義務の免除③（入門編）
	27	課税仕入れの範囲①（入門編）	57	納税義務の免除④（入門編）
	28	課税仕入れの範囲②（入門編）	58	納税義務の免除⑤（入門編）
	29	課税仕入れの範囲③（入門編）	59	確認テスト(計算)
	30	課税仕入れの範囲④（入門編）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	控除対象仕入税額①（初級編）	31	納税義務の免除①（初級編）
	2	控除対象仕入税額②（初級編）	32	納税義務の免除②（初級編）
	3	控除対象仕入税額③（初級編）	33	納税義務の免除③（初級編）
	4	控除対象仕入税額④（初級編）	34	納税義務の免除④（初級編）
	5	控除対象仕入税額⑤（初級編）	35	納税義務の免除⑤（初級編）
	6	控除対象仕入税額⑥（初級編）	36	国境を越えた役務の提供①（初級編）
	7	売上げに係る対価の返還等①（初級編）	37	国境を越えた役務の提供②（初級編）
	8	売上げに係る対価の返還等②（初級編）	38	国境を越えた役務の提供③（初級編）
	9	貸倒れが生じた場合①（初級編）	39	国境を越えた役務の提供④（初級編）
	10	貸倒れが生じた場合②（初級編）	40	国境を越えた役務の提供⑤（初級編）
	11	課税仕入れの範囲①（初級編）	41	中間申告に係る納付税額の計算①（初級編）
	12	課税仕入れの範囲②（初級編）	42	中間申告に係る納付税額の計算②（初級編）
	13	課税仕入れの範囲③（初級編）	43	課税仕入れ等の分類①（初級編）
	14	課税仕入れの範囲④（初級編）	44	課税仕入れ等の分類②（初級編）
	15	課税仕入れ等の時期①（初級編）	45	課税仕入れ等の分類③（初級編）
	16	課税仕入れ等の時期②（初級編）	46	課税仕入れ等の分類④（初級編）
	17	課税仕入れ等の時期③（初級編）	47	課税仕入れ等の分類⑤（初級編）
	18	課税仕入れ等の時期④（初級編）	48	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①（初級編）
	19	課税売上割合①（初級編）	49	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②（初級編）
	20	課税売上割合②（初級編）	50	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③（初級編）
	21	課税売上割合③（初級編）	51	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編）
	22	課税売上割合④（初級編）	52	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編）
	23	課税売上割合⑤（初級編）	53	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（初級編）
	24	課税売上割合⑥（初級編）	54	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④（初級編）
	25	課税期間における課税売上高①（初級編）	55	納税義務の免除の特例①（初級編）
	26	課税期間における課税売上高②（初級編）	56	納税義務の免除の特例②（初級編）
	27	課税売上割合に準ずる割合①（初級編）	57	納税義務の免除の特例③（初級編）
	28	課税売上割合に準ずる割合②（初級編）	58	納税義務の免除の特例④（初級編）
	29	仕入れに係る対価の返還等①（初級編）	59	納税義務の免除の特例⑤（初級編）
	30	仕入れに係る対価の返還等②（初級編）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	法人税法の計算体系の理解を目的とする			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	基本的な部分の学習を行い、初級問題の解法を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス（初級）	31	外貨建取引Ⅳ（基礎）
	2	納税義務者（初級）	32	有価証券Ⅰ（基礎）
	3	課税所得の範囲（初級）	33	有価証券Ⅱ（基礎）
	4	交際費等の損金不算入Ⅰ（初級）	34	有価証券Ⅲ（基礎）
	5	減価償却Ⅰ（初級）	35	有価証券Ⅳ（基礎）
	6	減価償却Ⅱ（初級）	36	収用等Ⅰ（基礎）
	7	減価償却Ⅲ（初級）	37	収用等Ⅱ（基礎）
	8	受取配当等の益金不算入Ⅰ（初級）	38	収用等Ⅲ（基礎）
	9	寄附金の損金不算入Ⅰ（初級）	39	収用等Ⅳ（基礎）
	10	租税公課等（初級）	40	所得税額控除Ⅰ（基礎）
	11	納税充当金Ⅰ（初級）	41	所得税額控除Ⅱ（基礎）
	12	納税充当金Ⅱ（初級）	42	所得税額控除Ⅲ（基礎）
	13	別表四の作成（初級）	43	所得税額控除Ⅳ（基礎）
	14	事業年度（初級）	44	国庫補助金等Ⅰ（基礎）
	15	確認テスト（理論）	45	国庫補助金等Ⅱ（基礎）
	16	貸倒損失Ⅰ（基礎）	46	国庫補助金等Ⅲ（基礎）
	17	貸倒損失Ⅱ（基礎）	47	国庫補助金等Ⅳ（基礎）
	18	貸倒損失Ⅲ（基礎）	48	別表五(一)の作成Ⅰ（基礎）
	19	貸倒損失Ⅳ（基礎）	49	別表五(一)の作成Ⅱ（基礎）
	20	貸倒引当金Ⅰ（基礎）	50	別表五(一)の作成Ⅲ（基礎）
	21	貸倒引当金Ⅱ（基礎）	51	別表五(一)の作成Ⅳ（基礎）
	22	貸倒引当金Ⅲ（基礎）	52	圧縮記帳Ⅰ（基礎）
	23	貸倒引当金Ⅳ（基礎）	53	圧縮記帳Ⅱ（基礎）
	24	欠損金Ⅰ（基礎）	54	圧縮記帳Ⅲ（基礎）
	25	欠損金Ⅱ（基礎）	55	圧縮記帳Ⅳ（基礎）
	26	欠損金Ⅲ（基礎）	56	圧縮記帳Ⅴ（基礎）
	27	欠損金Ⅳ（基礎）	57	圧縮記帳Ⅵ（基礎）
	28	外貨建取引Ⅰ（基礎）	58	圧縮記帳Ⅶ（基礎）
	29	外貨建取引Ⅱ（基礎）	59	圧縮記帳Ⅷ（基礎）
	30	外貨建取引Ⅲ（基礎）	60	確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	欠損金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	貸倒損失Ⅰ（基礎）	31	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（基礎）
	2	貸倒損失Ⅱ（基礎）	32	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（基礎）
	3	貸倒引当金Ⅰ（基礎）	33	みなし配当金Ⅰ（基礎）
	4	貸倒引当金Ⅱ（基礎）	34	みなし配当金Ⅱ（基礎）
	5	欠損金Ⅰ（基礎）	35	資本等取引Ⅰ（基礎）
	6	欠損金Ⅱ（基礎）	36	資本等取引Ⅱ（基礎）
	7	外貨建取引Ⅰ（基礎）	37	交換差益Ⅰ（基礎）
	8	外貨建取引Ⅱ（基礎）	38	交換差益Ⅱ（基礎）
	9	有価証券Ⅰ（基礎）	39	交換差益Ⅲ（基礎）
	10	有価証券Ⅱ（基礎）	40	別表五(二)Ⅰ（基礎）
	11	収用等Ⅰ（基礎）	41	別表五(二)Ⅱ（基礎）
	12	収用等Ⅱ（基礎）	42	別表五(二)Ⅲ（基礎）
	13	所得税額控除Ⅰ（基礎）	43	別表五(二)Ⅳ（基礎）
	14	所得税額控除Ⅱ（基礎）	44	リース取引Ⅰ（基礎）
	15	国庫補助金等Ⅰ（基礎）	45	リース取引Ⅱ（基礎）
	16	国庫補助金等Ⅱ（基礎）	46	リース取引Ⅲ（基礎）
	17	別表五(一)の作成Ⅰ（基礎）	47	リース取引Ⅳ（基礎）
	18	別表五(一)の作成Ⅱ（基礎）	48	繰延資産Ⅰ（基礎）
	19	圧縮記帳Ⅰ（基礎）	49	繰延資産Ⅱ（基礎）
	20	圧縮記帳Ⅱ（基礎）	50	繰延資産Ⅲ（基礎）
	21	役員判定Ⅰ（基礎）	51	繰延資産Ⅳ（基礎）
	22	役員判定Ⅱ（基礎）	52	確定決算型Ⅰ（基礎）
	23	役員給与Ⅰ（基礎）	53	確定決算型Ⅱ（基礎）
	24	役員給与Ⅱ（基礎）	54	確定決算型Ⅲ（基礎）
	25	使用人給与Ⅰ（基礎）	55	確定決算型Ⅳ（基礎）
	26	使用人給与Ⅱ（基礎）	56	グループ法人税制Ⅰ（基礎）
	27	特定資産の買換えⅠ（基礎）	57	グループ法人税制Ⅱ（基礎）
	28	特定資産の買換えⅡ（基礎）	58	資産の評価損益（基礎）
	29	外国税額控除Ⅰ（基礎）	59	保険料（基礎）
	30	外国税額控除Ⅱ（基礎）	60	確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	相続税法入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	相続税および贈与税の概要入門を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（入門）			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス	31	特定納税義務者の債務控除（入門）
	2	相続税法の概要（入門）	32	特定納税義務者の障害者控除（入門）
	3	相続税法と民法（入門）	33	贈与税額控除（精算）（入門）
	4	相続人、代襲相続（入門）	34	自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（入門）
	5	養子の子の取扱い（入門）	35	自家用屋（入門）
	6	相続の承認と放棄（入門）	36	家屋と構造上一体となっている設備（入門）
	7	相続分（法定相続分、代襲相続分）（入門）	37	特別養子制度（入門）
	8	遺言による財産の取得（入門）	38	生命保険契約に関する権利（入門）
	9	相続税の納税義務者（入門）	39	被保険者でない保険契約者が死亡した場合（入門）
	10	生命保険金等（入門）	40	法定相続人の数（入門）
	11	相続税の非課税財産（入門）	41	本来の財産（入門）
	12	相続税額の計算方法（入門）	42	自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地）（入門）
	13	生命保険金等の非課税金額（入門）	43	地区区分の異なる宅地（入門）
	14	退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（入門）	44	側方路線等に宅地の一部が接している場合（入門）
	15	確認テスト(理論)	45	普通借地権（自用借地権）（入門）
	16	贈与税の概要（入門）	46	貸宅地（入門）
	17	贈与税の納税義務者（入門）	47	貸家建付地（入門）
	18	弔慰金等（入門）	48	貸家建付借地権（入門）
	19	債務控除（入門）	49	貸家（入門）
	20	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（入門）	50	一般動産（入門）
	21	相続時精算課税適用財産（入門）	51	たな卸商品等（入門）
	22	生前贈与加算相続税の総額（入門）	52	書画骨とう品（入門）
	23	算出相続税額の計算（入門）	53	預貯金（入門）
	24	相続税額の加算（入門）	54	上場株式（入門）
	25	贈与税額控除（暦年）（入門）	55	構築物（入門）
	26	配偶者の税額軽減（入門）	56	貸付金債権等（入門）
	27	未成年者控除（入門）	57	受取手形等（入門）
	28	障害者控除（入門）	58	間口が狭小な宅地等（入門）
	29	確認テスト①(理論)	59	角切り宅地の間口距離（入門）
	30	特定納税義務者（入門）	60	確認テスト②(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	相続税法基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な問題の理解			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	贈与税の概要（基礎）、贈与税の納税義務者（基礎）	31	小規模宅地等の減額①（基礎）
	2	弔慰金等（基礎）、債務控除（基礎）	32	小規模宅地等の減額②（基礎）
	3	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（基礎）	33	小規模宅地等の減額③（基礎）
	4	相続時精算課税適用財産（基礎）等	34	小規模宅地等の減額④（基礎）
	5	算出相続税額の計算（基礎）、相続税額の加算（基礎）	35	小規模宅地等の減額⑤（基礎）
	6	贈与税額控除（暦年）（基礎）、配偶者の税額軽減（基礎）	36	小規模宅地等の減額⑥（基礎）
	7	未成年者控除（基礎）、障害者控除（基礎）	37	確認テスト③(理論)
	8	確認テスト①(理論)	38	取引相場のない株式①（基礎）
	9	特定納税義務者（基礎）	39	取引相場のない株式②（基礎）
	10	特定納税義務者の債務控除（基礎）等	40	取引相場のない株式③（基礎）
	11	贈与税額控除（精算）（基礎）	41	取引相場のない株式④（基礎）
	12	自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（基礎）	42	取引相場のない株式⑤（基礎）
	13	自用家屋（基礎）、家屋と構造上一体となっている設備（基礎）	43	取引相場のない株式⑥（基礎）
	14	特別養子制度（基礎）、生命保険契約に関する権利（基礎）	44	取引相場のない株式⑦（基礎）
	15	被保険者でない保険契約者が死亡した場合（基礎）	45	取引相場のない株式⑧（基礎）
	16	法定相続人の数（基礎）、本束の財産（基礎）	46	取引相場のない株式⑨（基礎）
	17	自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地）（基礎）	47	取引相場のない株式⑩（基礎）
	18	地区区分の異なる宅地（基礎）	48	取引相場のない株式⑪（基礎）
	19	側方路線等に宅地の一部が接している場合（基礎）	49	取引相場のない株式⑫（基礎）
	20	普通借地権（自用借地権）（基礎）、貸宅地（基礎）等	50	取引相場のない株式⑬（基礎）
	21	貸家建付借地権（基礎）、貸家（基礎）	51	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（基礎）
	22	一般動産（基礎）、たな卸商品等（基礎）	52	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（基礎）
	23	書画骨とう品（基礎）、預貯金（基礎）	53	相当の地代を支払っている場合の借地権（基礎）
	24	上場株式（基礎）、構築物（基礎）	54	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（基礎）
	25	貸付金債権等（基礎）、受取手形等（基礎）	55	利用区分が異なる建物（基礎）、建築中の家屋（基礎）
	26	間口が狭小な宅地等（基礎）、角切り宅地の間口距離（基礎）	56	不整形地（基礎）、地積規模の大きな宅地（基礎）
	27	確認テスト②(理論)	57	がけ地等を有する宅地（基礎）、旗竿状の宅地等（基礎）
	28	使用貸借により借り受けた宅地等（基礎）	58	容積率の異なる宅地（基礎）
	29	使用貸借により貸し付けられた宅地等（基礎）	59	都市計画道路予定地の区域内にある宅地（基礎）
	30	使用貸借により貸し付けられた家屋（基礎）	60	確認テスト④(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務会計論応用 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	180時間			
授業回数	90回			
授業概要	連結会計に関する基礎的な会計処理を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	連結会計に関する基礎的な問題の解答を正確に導き出すことができる			
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）			
特記				
授業計画	1	連結財務諸表総論	46	通常の販売目的で保有する棚卸資産
	2	支配獲得日における連結貸借対照表の作成	47	トレーディング目的で保有する棚卸資産
	3	支配獲得日以降における連結貸借対照表の作成	48	売価還元法と最終仕入原価法
	4	段階取得（その他投資先から子会社）	49	固定資産の取得原価の決定
	5	段階取得（関連会社から子会社）	50	資本的支出と収益的支出
	6	子会社株式の追加取得	51	減価償却
	7	子会社株式の一部売却	52	個別償却と総合償却
	8	連結除外（関連会社になった場合）	53	減耗償却と取替法
	9	連結除外（関連会社にも該当しなくなった場合）	54	圧縮記帳
	10	子会社の増資（株主割当有償増資）	55	株式交付費
	11	子会社の増資（第三者割当有償増資）	56	社債発行費等
	12	子会社の新株予約権の取扱い	57	創立費
	13	子会社が保有する自己株式	58	開業費
	14	評価差額の実現（非償却性資産）	59	開発費
	15	評価差額の実現（償却性資産）	60	支出の効果が期待されなくなった繰延資産の会計処理
	16	成果連結総論	61	製品保証引当金
	17	未実現利益の消去（棚卸資産）	62	売上割戻引当金
	18	債権債務の相殺及び貸倒引当金の調整	63	返品調整引当金
	19	未達取引（未達商品）	64	修繕引当金
	20	未達取引（決済未達）	65	資産除去債務の範囲
	21	手形取引	66	資産除去債務の会計処理
	22	未実現利益の消去（非償却性資産）	67	資産除去債務の開示
	23	未実現利益の消去（償却性資産）	68	株主資本の分類
	24	社債取引（発行時取得）	69	資本金
	25	社債取引（発行後取得）	70	資本剰余金
	26	持分法総論	71	利益剰余金
	27	持分法（追加取得）	72	自己株式
	28	持分法（一部売却）	73	資本金および準備金の額の減少
	29	持分法（持分法除外）	74	資本剰余金と利益剰余金の混同の禁止
	30	持分法（未実現利益の消去）	75	剰余金の配当等
	31	連結税効果（未実現利益：棚卸資産）	76	株主資本等変動計算書の目的
	32	連結税効果（未実現利益：非償却性資産）	77	株主資本等変動計算書に記載すべき項目の範囲
	33	連結税効果（未実現利益：償却性資産）	78	株主資本等変動計算書の表示方法
	34	連結税効果（未実現利益：持分法適用会社）	79	株主資本等変動計算書の注記事項
	35	連結税効果（貸倒引当金）	80	キャッシュ・フロー計算書の作成目的
	36	連結税効果（子会社の評価差額：非償却性資産）	81	利益とキャッシュ・フロー
	37	連結税効果（子会社の評価差額：償却性資産）	82	資金概念
	38	連結税効果（関連会社の評価差額）	83	キャッシュ・フロー計算書の区分
	39	連結税効果（財務諸表表示）	84	直接法と間接法
	40	連結税効果（税率の変更）	85	キャッシュ・フロー計算書の注記事項
	41	包括利益総論	86	会計方針
	42	法人税	87	後発事象
	43	事業税	88	偶発事象
	44	消費税	89	時価情報
	45	その他税金	90	継続企業情報
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの得点100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	管理会計論応用 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	問題演習を通して、計算力の向上とともに原価計算基準の知識の定着を図る			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	問題演習を通して、計算力の向上とともに原価計算基準の知識を習得する			
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）			
特記				
授業計画	1	財務情報分析	31	CVPC分析
	2	財務情報分析の意義	32	原価分解の必要性
	3	財務情報分析の種類	33	原価態様（コスト・ビヘイビア）に基づく原価分類
	4	収益性分析	34	原価分解の方法
	5	投下資本利益率	35	直接原価計算の基礎
	6	投下資本利益率の分解	36	直接原価計算の意義
	7	安全性分析	37	直接原価計算の特徴
	8	短期財務安全性分析	38	直接原価計算の有用性
	9	長期財務安全性分析	39	全部原価計算との関係
	10	キャッシュフロー分析	40	講義内演習①
	11	短期利益計画のための管理会計	41	講義内演習②
	12	短期利益計画の基礎	42	講義内演習③
	13	利益計画の意義	43	講義内演習④
	14	中期経営計画と短期利益計画	44	講義内演習⑤
	15	短期利益計画のプロセス	45	確認テスト
	16	CVP分析（Cost-Volume-Profit Analysis）		
	17	CVP分析の意義		
	18	原価・営業量・利益の関係		
	19	CVP分析の仮定		
	20	損益分岐点売上高（販売量）の算定		
	21	希望（目標）営業利益を達成する売上高（販売量）の算定		
	22	希望（目標）売上高営業利益率をあげる売上高		
	23	損益分岐図表・限界利益図表		
	24	安全（余裕）率・損益分岐点比率		
	25	経営レバレッジ係数		
	26	多品種製品を取り扱っている場合のCVP分析		
	27	多品種製品を取り扱っている場合の限界利益図表の作成		
	28	CVP感度分析		
	29	営業外損益の取り扱い		
	30	全部原価計算の損益分岐分析		
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論応用 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした有識者の講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	財務諸表監査総論
	2	意見表明の対象である財務諸表
	3	監査主体論、監査基準論
	4	監査人
	5	職業倫理（監査人に要求される条件）
	6	専門能力及び知識
	7	主要勘定と帳簿、証拠等の例
	8	アサーション
	9	監査技術 監査証拠
	10	監査技術 閲覧
	11	監査技術 帳簿突合
	12	監査技術 証憑突合
	13	監査技術 実査
	14	監査技術 観察
	15	監査技術 再計算
	16	監査技術 再実施
	17	監査技術 質問
	18	監査技術 年齢調べ
	19	監査技術 棚卸資産に対する手続
	20	監査技術 確認
	21	監査技術 分析的手続
	22	監査技術 経営者確認書
	23	リスク・アプローチ
	24	監査リスク
	25	リスク評価手続の全体像
	26	リスク・アプローチとの関係
	27	監査とIT
	28	ITの特徴①
	29	ITの特徴②
	30	監査に係る予備的な活動 契約の締結まで
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法応用 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式を中心とした基礎的な概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式に関する考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	会計監査人
	2	指名委員会等設置会社
	3	監査等委員会設置会社
	4	募集株式の発行等
	5	募集事項の決定
	6	募集事項の決定
	7	出資の履行等
	8	募集株式の発行等の効力発生等
	9	新株予約権
	10	社債の意義
	11	社債と株式の異同
	12	社債の発行
	13	社債の管理
	14	社債の譲渡
	15	利息の支払・償還
	16	計算書類その他
	17	資本金・準備金・剰余金
	18	剰余金の配当
	19	定款変更の意義
	20	定款変更の手続
	21	発行可能株式総数
	22	事業譲渡等
	23	組織再編 総説
	24	組織変更
	25	合併 総説
	26	会社分割 総説
	27	株式交換・株式移転 総説
	28	持分法会社の組織再編
	29	会社の清算
	30	持分会社
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務会計論総合 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士会計士学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	難易度の高い問題について、的確な解法で解答を導き出すことができる			
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）			
特記				
授業計画	1	基礎演習①	31	記述式基礎問題（初級編）①
	2	基礎演習②	32	記述式基礎問題（初級編）②
	3	基礎演習③	33	記述式基礎問題（初級編）③
	4	個別基礎問題（初級編）①	34	記述式基礎問題（初級編）④
	5	個別基礎問題（初級編）②	35	記述式基礎問題（初級編）⑤
	6	個別基礎問題（初級編）③	36	記述式基礎問題（初級編）⑥
	7	個別基礎問題（初級編）④	37	記述式基礎問題（初級編）⑦
	8	個別基礎問題（初級編）⑤	38	記述式基礎問題（初級編）⑧
	9	個別基礎問題（初級編）⑥	39	記述式基礎問題（初級編）⑨
	10	個別基礎問題（初級編）⑦	40	記述式基礎問題（初級編）⑩
	11	個別基礎問題（初級編）⑧	41	記述式基礎問題（初級編）⑪
	12	個別基礎問題（初級編）⑨	42	記述式基礎問題（初級編）⑫
	13	個別基礎問題（初級編）⑩	43	記述式基礎問題（初級編）⑬
	14	個別基礎問題（初級編）⑪	44	記述式基礎問題（初級編）⑭
	15	個別基礎問題（初級編）⑫	45	記述式基礎問題（初級編）⑮
	16	計算基礎問題（初級編）①	46	記述式基礎問題（初級編）⑯
	17	計算基礎問題（初級編）②	47	記述式基礎問題（初級編）⑰
	18	計算基礎問題（初級編）③	48	記述式基礎問題（初級編）⑱
	19	計算基礎問題（初級編）④	49	記述式基礎問題（初級編）⑲
	20	計算基礎問題（初級編）⑤	50	記述式基礎問題（初級編）⑳
	21	計算基礎問題（初級編）⑥	51	記述式基礎問題（初級編）㉑
	22	計算基礎問題（初級編）⑦	52	記述式基礎問題（初級編）㉒
	23	計算基礎問題（初級編）⑧	53	記述式基礎問題（初級編）㉓
	24	計算基礎問題（初級編）⑨	54	記述式基礎問題（初級編）㉔
	25	計算基礎問題（初級編）⑩	55	記述式基礎問題（初級編）㉕
	26	計算基礎問題（初級編）⑪	56	記述式基礎問題（初級編）㉖
	27	計算基礎問題（初級編）⑫	57	記述式基礎問題（初級編）㉗
	28	計算基礎問題（初級編）⑬	58	記述式基礎問題（初級編）㉘
	29	計算基礎問題（初級編）⑭	59	記述式基礎問題（初級編）㉙
	30	計算基礎問題（初級編）⑮	60	記述式基礎問題（初級編）㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	管理会計論総合 I		
実務家教員			
学部・学科	税理士会計士学科		
履修年次	2年次		
開講区分	通年		
科目区分	共通選択		
授業方法	講義		
授業時間	90時間		
授業回数	45回		
授業概要	原価計算システムを通じて提供される原価情報が企業経営においてどのように役立つのかを理解する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	原価計算システムを通じて提供される原価情報が企業経営においてどのように役立つのかを理解し、説明できる		
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）		
特記			
授業計画	1	直接実際原価計算	31 計算基礎問題（初級編）①
	2	直接実際原価計算の意義	32 計算基礎問題（初級編）②
	3	直接実際原価計算による損益計算書	33 計算基礎問題（初級編）③
	4	固定費調整	34 計算基礎問題（初級編）④
	5	直接標準原価計算	35 計算基礎問題（初級編）⑤
	6	直接標準原価計算の意義	36 計算基礎問題（初級編）⑥
	7	直接標準原価計算による損益計算書	37 計算基礎問題（初級編）⑦
	8	直接標準原価計算における固定費調整	38 計算基礎問題（初級編）⑧
	9	直接原価計算に関する諸論点	39 計算基礎問題（初級編）⑨
	10	生産・販売量と営業利益の関係の整理	40 計算基礎問題（初級編）⑩
	11	セグメント別損益計算書	41 計算基礎問題（初級編）⑪
	12	固定費（キャパシテイ・コスト）の管理	42 計算基礎問題（初級編）⑫
	13	直接原価計算による営業利益が制度外とされている理由	43 計算基礎問題（初級編）⑬
	14	予算管理の基礎	44 計算基礎問題（初級編）⑭
	15	予算と予算管理の意義	45 計算基礎問題（初級編）⑮
	16	予算管理のプロセス	
	17	予算管理と責任会計	
	18	予算の種類	
	19	予算編成の方法	
	20	予算編成の手順	
	21	予算統制	
	22	予算実績差異分析の意義と手続	
	23	予算実績比較損益計算書の作成	
	24	予算実績差異分析の詳細	
	25	予算報告書	
	26	講義内演習①	
	27	講義内演習②	
	28	講義内演習③	
	29	講義内演習④	
	30	講義内演習⑤	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論総合 I
実務家教員	
学部・学科	税理士会計士学科
履修年次	2年次
開講区分	後期
科目区分	共通選択
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査計画についての基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査計画についての基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）
特記	
授業計画	1 監査に係る予備的な活動 意義
	2 監査に係る予備的な活動 何を検討するのか
	3 監査に係る予備的な活動 検討の結果
	4 監査計画の定義
	5 監査計画の分類
	6 監査証拠の入手方法
	7 監査サンプリング
	8 重要性の定義
	9 監査上の重要性が用いられる場面
	10 重要な虚偽表示か否かの判断
	11 監査上の重要性の例
	12 重要性の基準値の決定
	13 特別な検討を必要とするリスクの定義等
	14 特別な検討を必要とするリスク評価手続き及びリスクの識別・評価
	15 関連当事者とは
	16 関連当事者
	17 関連当事者との取引について検討する理由
	18 会計上の見積りとは
	19 会計上の見積りの定義
	20 会計上の見積りの例
	21 不正の定義及び特徴
	22 不正・誤謬の定義
	23 不正の分類
	24 不正リスク対応基準
	25 用語の説明（不正による重要な虚偽を示唆する状況等）
	26 職業的懐疑心
	27 法令の分類
	28 違法行為の定義
	29 グループ監査とは
	30 グループ監査の実施プロセス
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法総合 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	会社法を中心とした、会社の設立や株式に関する知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	会社法における、会社の設立や株式に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	会社の概念
	2	会社の種類
	3	株式会社の概念
	4	会社設立
	5	発起人
	6	定款の作成
	7	発起設立と募集設立
	8	変態設立事項に関する規制
	9	設立登記
	10	設立関与者の責任
	11	設立の瑕疵
	12	株式の意義
	13	株式不可分の原則
	14	株主の権利・義務の意義
	15	株主の権利に関する規定
	16	株主平等原則の意義
	17	株主平等原則の趣旨・効果
	18	株主平等原則の例外
	19	株式譲渡自由の原則
	20	自己株式取得規制の概要
	21	子会社による親会社株式の取得
	22	株券の意義
	23	株式譲渡の効力発生要件、対抗要件
	24	株主名簿の意義等
	25	名義書換制度
	26	株式の担保化
	27	株式振替制度の意義
	28	端数が生ずる場合
	29	単元株制度の意義
	30	株式等売渡請求の概要
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論基礎演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題（初級編）①
	2	記述式応用問題（初級編）②
	3	記述式応用問題（初級編）③
	4	記述式応用問題（初級編）④
	5	記述式応用問題（初級編）⑤
	6	記述式応用問題（初級編）⑥
	7	記述式応用問題（初級編）⑦
	8	記述式応用問題（初級編）⑧
	9	記述式応用問題（初級編）⑨
	10	記述式応用問題（初級編）⑩
	11	記述式応用問題（初級編）⑪
	12	記述式応用問題（初級編）⑫
	13	記述式応用問題（初級編）⑬
	14	記述式応用問題（初級編）⑭
	15	記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論基礎演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、管理会計の基礎知識を定着させることを図る	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（初級編）①
	2	記述式基礎問題（初級編）②
	3	記述式基礎問題（初級編）③
	4	記述式基礎問題（初級編）④
	5	記述式基礎問題（初級編）⑤
	6	記述式基礎問題（初級編）⑥
	7	記述式基礎問題（初級編）⑦
	8	記述式基礎問題（初級編）⑧
	9	記述式基礎問題（初級編）⑨
	10	記述式基礎問題（初級編）⑩
	11	記述式基礎問題（初級編）⑪
	12	記述式基礎問題（初級編）⑫
	13	記述式基礎問題（初級編）⑬
	14	記述式基礎問題（初級編）⑭
	15	記述式基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論基礎演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	監査制度に関する個別的な論点を基本的な記述式問題を通じて定着させることを図る	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（初級編）①
	2	記述式基礎問題（初級編）②
	3	記述式基礎問題（初級編）③
	4	記述式基礎問題（初級編）④
	5	記述式基礎問題（初級編）⑤
	6	記述式基礎問題（初級編）⑥
	7	記述式基礎問題（初級編）⑦
	8	記述式基礎問題（初級編）⑧
	9	記述式基礎問題（初級編）⑨
	10	記述式基礎問題（初級編）⑩
	11	記述式基礎問題（初級編）⑪
	12	記述式基礎問題（初級編）⑫
	13	記述式基礎問題（初級編）⑬
	14	記述式基礎問題（初級編）⑭
	15	記述式基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法基礎演習 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	簡易的な記述式問題により会社法に関する正確な知識のインプットを図る演習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題（初級編）①
	2	記述式基礎問題（初級編）②
	3	記述式基礎問題（初級編）③
	4	記述式基礎問題（初級編）④
	5	記述式基礎問題（初級編）⑤
	6	記述式基礎問題（初級編）⑥
	7	記述式基礎問題（初級編）⑦
	8	記述式基礎問題（初級編）⑧
	9	記述式基礎問題（初級編）⑨
	10	記述式基礎問題（初級編）⑩
	11	記述式基礎問題（初級編）⑪
	12	記述式基礎問題（初級編）⑫
	13	記述式基礎問題（初級編）⑬
	14	記述式基礎問題（初級編）⑭
	15	記述式基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	短答式対策入門総合 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験形式による効果測定	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	財務会計（計算） 択一式応用問題（初級編）①
	2	財務会計（理論） 択一式応用問題（初級編）①
	3	管理会計 択一式応用問題（初級編）①
	4	企業法 択一式応用問題（初級編）①
	5	監査論 択一式応用問題（初級編）①
	6	財務会計（計算） 択一式応用問題（初級編）②
	7	財務会計（理論） 択一式応用問題（初級編）②
	8	管理会計 択一式応用問題（初級編）②
	9	企業法 択一式応用問題（初級編）②
	10	監査論 択一式応用問題（初級編）②
	11	財務会計（計算） 択一式応用問題（初級編）③
	12	財務会計（理論） 択一式応用問題（初級編）③
	13	管理会計 択一式応用問題（初級編）③
	14	企業法 択一式応用問題（初級編）③
	15	監査論 択一式応用問題（初級編）③
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	短答式対策入門総合Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験形式による効果測定	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	財務会計（計算） 択一式総合問題（初級編）①
	2	財務会計（理論） 択一式総合問題（初級編）①
	3	管理会計 択一式総合問題（初級編）①
	4	企業法 択一式総合問題（初級編）①
	5	監査論 択一式総合問題（初級編）①
	6	財務会計（計算） 択一式総合問題（初級編）②
	7	財務会計（理論） 択一式総合問題（初級編）②
	8	管理会計 択一式総合問題（初級編）②
	9	企業法 択一式総合問題（初級編）②
	10	監査論 択一式総合問題（初級編）②
	11	財務会計（計算） 択一式総合問題（初級編）③
	12	財務会計（理論） 択一式総合問題（初級編）③
	13	管理会計 択一式総合問題（初級編）③
	14	企業法 択一式総合問題（初級編）③
	15	監査論 択一式総合問題（初級編）③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	法人税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	法人税法の概要を捉え、基本的な計算方法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	法人税法総則・課税標準
	2	交際費等の損金不算入（概要・計算構造）
	3	減価償却（普通償却）
	4	租税公課及び納税充当金
	5	受取配当等の益金不算入
	6	繰延資産（概要）
	7	金銭債務に係る債務者の償還差益又は償還差損の益金又は損金算入
	8	有価証券
	9	所得税額控除（原則法）
	10	寄附金の損金不算入
	11	減価償却（特別償却・概要）
	12	特別償却準備金
	13	リース取引
	14	評価損益
	15	講義内演習・確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営学基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	ファイナンス分野の基礎的な計算知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	ファイナンス分野の基礎的な計算知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	投資理論の基礎知識
	2	最適なポートフォリオの選択
	3	資本資産評価モデル：CAPM（キャップエム）
	4	債券評価
	5	裁定取引と効率的市場
	6	マルチファクターモデルと行動ファイナンス
	7	企業財務論の目的
	8	資本コスト
	9	最適資本構成
	10	プロジェクトの評価
	11	配当政策（ペイアウト政策その1）
	12	自社株買い（ペイアウト政策その2）
	13	財務情報分析
	14	M&Aにおける企業価値評価
	15	企業価値評価（バリエーション）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	所得税法・消費税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	所得税法・消費税法の概要を捉え、基本的な計算方法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	所得税法の概要
	2	各種所得と各種所得の金額の計算（総測）
	3	減価償却
	4	課税標準・課税所得金額の計算
	5	所得控除額の計算
	6	納税税額の計算（総則）
	7	申告・納付
	8	源泉徴収
	9	有価証券に係る課税の特例
	10	消費税法の概要
	11	課税の対象
	12	非課税
	13	輸出免税等
	14	課税標準
	15	講義内演習・確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	論文式対策総合 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士会計士学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験形式による総合問題の効果測定	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	論文式試験に合格するための知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	解答上の留意点
	2	財務会計（計算） 記述式模擬試験 （初級編）①
	3	財務会計（理論） 記述式模擬試験 （初級編）①
	4	管理会計 記述式模擬試験 （初級編）①
	5	企業法 記述式模擬試験 （初級編）①
	6	監査論 記述式模擬試験 （初級編）①
	7	租税法 記述式模擬試験 （初級編）①
	8	経営学 記述式模擬試験 （初級編）①
	9	財務会計（計算） 記述式模擬試験 （初級編）②
	10	財務会計（理論） 記述式模擬試験 （初級編）②
	11	管理会計 記述式模擬試験 （初級編）②
	12	企業法 記述式模擬試験 （初級編）②
	13	監査論 記述式模擬試験 （初級編）②
	14	租税法 記述式模擬試験 （初級編）②
	15	経営学 記述式模擬試験 （初級編）②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		